

目 次

目 次	1
1. 2009（平成21）年度の主な活動	3
* 2009（平成21）年度入館者一覧	4
2. 資料の収集・利用	5
2-1 資料の収集	5
(1) 受 贈	5
(2) 寄 託	5
2-2 資料の利用	5
(1) 貸 与	5
(2) その他	6
3. 展示活動	7
3-1 常設展示	7
(1) 歴史展示	7
(2) 美術・工芸展示	9
(3) その他館内展示物	14
3-2 特別展示	15
(1) 自主企画展	15
(2) 共催展等	17
* 2009（平成21）年度特別展一覧	22
(3) 京都府民ギャラリー事業への協力	24
3-3 映 画	25
(1) 常設上映	25
(2) 特別企画・共催事業	26
(3) 映像ギャラリー常設展示	28
(4) 京都府映像文化センター運営委員	28
3-4 その他	28
4. 調査研究活動	29
4-1 学芸員の活動	29
(1) 博物館研究費による研究	29
(2) 外部研究費・共同研究等による研究	29
(3) 出講・委嘱	29
(4) 学芸員の業績	29
5. 普及活動	33
5-1 出版物	33
(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』	33
(2) 京都文化博物館年報	33
(3) 展覧会図録	33

5-2	講演会・音楽会	… … … …	34
	(1) 講演会など	… … … …	34
	(2) 音楽会	… … … …	35
5-3	博物館実習	… … … …	37
5-4	その他の活動	… … … …	38
	(1) 資料閲覧室	… … … …	38
	(2) 文化情報コーナー	… … … …	38
	(3) ホームページによる広報とコンテンツの提供	… … … …	38
	(4) 生涯学習ボランティア	… … … …	38
	(5) 団体見学案内	… … … …	39
	(6) 京都文化博物館友の会	… … … …	40
	(7) 学習普及活動	… … … …	41
	(8) 地域との連携	… … … …	42
6.	ギャラリー事業	… … … …	44
6-1	5・6階展示室	… … … …	44
	(1) 京都文化財団展示室運営委員会	… … … …	44
	(2) 美術・工芸作家の利用	… … … …	44
	(3) 生涯学習的発表期間の利用	… … … …	45
	(4) 一般の利用	… … … …	47
	(5) 特別展関連事業	… … … …	47
6-2	別館ホール	… … … …	48
7.	管理・運営… … … …	… … … …	49
7-1	組織と職員	… … … …	49
	(1) 組織	… … … …	49
	(2) 京都文化財団役員	… … … …	49
	(3) 京都文化博物館職員	… … … …	50
7-2	施設	… … … …	50
	(1) 本館関係	… … … …	50
	(2) 別館関係	… … … …	50
7-3	ろうじ店舗	… … … …	51
	(1) ろうじ店舗一覧	… … … …	51
	(2) 別館店舗一覧	… … … …	51
	(3) 博和会・ろうじ行事	… … … …	51
8.	2009（平成21）年度のあゆみ… … … …	… … … …	52

1. 2009（平成21）年度の主な活動

京都文化博物館は、開館から21年目を迎えた。2009年度においては、館内設備及び常設展示品の経年による老朽化などの課題に対してリニューアル工事を行う方針の下、京都府において基本設計、実施設計の予算が計上され、館内職員も加わり一年を通じた議論の成果も反映された絵姿が明らかにされたところである。2010年度から工事に入り、2011年夏頃に完了する予定であるが、リニューアル後は、現在の2階・3階の常設展示室を総合展示室として位置づけ、京都文化博物館展示活動の柱である「京都の歴史と文化」「京都の美術・工芸」「映像・映画」を主に実物資料によって展開していく方針である。

2008年4月からは京都府の指定管理者制度に則った運営もスタートした。効率的かつ府民サービスの向上を図る視点に加え、長期的かつ安定的に経営しうる体制の確立をめざして、同年から「グランドデザイン」「学習普及・外部連携」「事業評価」の3つの館内プロジェクトを立ち上げ、館員全員が参加して現在の問題点と今後の課題について議論を重ねてきた。これらの議論の成果は、上記のリニューアル後の運営に反映される予定である。

当年度の自主企画展としては10月3日から11月15日まで「いけばな—歴史を彩る日本の美」展、及び11月23日から2010年1月11日まで「受け継いでいく 祇園祭」展を開催した。「いけばな」展は、いけばなの源流である仏教の供花、室町時代の連歌会、書院の飾り、茶会、七夕法楽の花、公家・武家の世界から江戸時代に町人社会へ、さらに海外への広がりまで、いけばな文化の歴史をたどる展覧会であり、花伝書や立花図、浮世絵、花器の名品などを通して日本のいけばなの多彩な芸術性を紹介した。豊臣秀吉の御成りのため前田邸で文禄3年に立てられた池坊専好の大砂物を資料からCGで復元するなどの試みも行い、来館者に好評を得た。同展の入館者数は19,142人であった。

また、「受け継いでいく 祇園祭」展は、祇園祭が世界無形文化遺産登録されるのを記念して開催したもので、近世から近現代の歴史資料、美術作品、映像などを通じて京を代表する祭りを紹介した。入館者数は13,628人であった。

2009年度特別展の総入場者数は、228,254人、常設展の入場者数は77,362人であり、貸ギャラリー、ろうじ店舗の入場者も含めた総入館者数は675,546人であった。

また、映画部門において、今年度は京都府所蔵フィルムの上映に加えて、映画フィルムの復元、若手映画作家の養成、子ども向け映画講座を、産学連携の手法を採り入れて充実させてきた。映画フィルムの復元では大阪芸術大学等と連携してフィルム保存・復元ワークショップを開催、若手映画作家



「いけばな—歴史を彩る日本の美」展ちらし

育成に関しては東映京都撮影所、松竹京都撮影所、ドイツ文化センター等と連携し時代劇制作ワークショップを開催した。そのほか京都の映画文化普及拠点としての役割を果たすべく外部との連携をすすめている。

さらに当年度6月には、京都市内4館連携協力協議会が発足した。これは当館及び京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑に行い、各館の発展と京都における文化・芸術及び生涯学習の振興に寄与することを目的としている。来年度の連携事業として連携講座の実施、合同展覧会スケジュールの作成、友の会会員の相互割引制度の実施を決定した。

***2009(平成21)年度入館者一覧**

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2009.4	2,138	1,846	3,984	11,921	8,751	20,672	14,059	10,597	24,656	2,751	6,625	1,145	10,521	35,177
5	2,182	2,276	4,458	15,694	13,483	29,177	17,876	15,759	33,635	9,734	1,733	2,210	13,677	47,312
6	1,356	1,557	2,913	3,079	4,101	7,180	4,435	5,658	10,093	5,455	2,029	3,274	10,758	20,851
7	2,106	1,542	3,648	3,011	6,220	9,231	5,117	7,762	12,879	2,346	1,709	6,568	10,623	23,502
8	1,944	1,750	3,694	26,752	8,699	35,451	28,696	10,449	39,145	3,525	1,823	1,710	7,058	46,203
9	1,924	1,395	3,319	40,793	16,627	57,420	42,717	18,022	60,739	4,411	2,121	5,980	12,512	73,251
10	7,520	12,739	20,259	5,744	4,758	10,502	13,264	17,497	30,761	5,632	2,687	30,923	39,242	70,003
11	4,201	15,833	20,034	4,698	5,789	10,487	8,899	21,622	30,521	3,351	8,658	5,418	17,427	47,948
12	1,489	1,844	3,333	3,135	3,195	6,330	4,624	5,039	9,663	1,786	4,100	5,703	11,589	21,252
2010.1	2,112	2,290	4,402	2,145	7,474	9,619	4,257	9,764	14,021	931	3,948	2,450	7,329	21,350
2	1,835	1,532	3,367	7,296	4,518	11,814	9,131	6,050	15,181	1,559	4,581	4,886	11,026	26,207
3	2,304	1,647	3,951	12,208	8,163	20,371	14,512	9,810	24,322	5,628	3,348	28,831	37,807	62,129
年度計	31,111	46,251	77,362	136,476	91,778	228,254	167,587	138,029	305,616	47,109	43,362	99,098	189,569	495,185
1日平均	101	151	252	515	346	861	546	450	995					1,613

2. 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料

については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集・利用等についても、その業務を当館で行ってきている。

なお、2009年度末での管理資料は51,365点、寄託資料が330点、一時保管資料が675点であった。

2-1 資料の収集

(1) 受 贈

管理資料

分 野	作 者	資 料 名	点 数	
人 形		雛飾り一式	1	
人 形		御殿雛飾り一式	1	
染 織	北村武資	紅地透文羅裂地 ほか	2	
民 具		文化炉 ほか	5	
陶磁器	高山泰造	鈞窯茶碗 ほか	5	
陶磁器	伊東 慶	向日葵蓋物 ほか	21	
洋 画	西岡義一	フランドン農学校のふた ほか	3	
歴史資料		色々威胴丸（付属資料含む）	1	
染 織	大西廣明	風かおる ほか	4	
人 形		市松人形一對	1	
日本画	亀山玲子	靨	1	
洋 画	杉浦 隆	舞妓 ほか	2	
日本画	山本知克	大きな屋根	1	
				小計 13件 48点

(2) 寄 託

種 別	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	小 計
館 資 料	日本画	3件 3点	古文書	24件 26点	典 籍	20件 233点	絵 図	18件 20点	複製模本	1件 1点	156件 795点
	貴重遺物	83件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴 史	1件 1点	
管理資料	日本画	5件 15点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	1件 1点	11件 330点
	歴 史	0件 0点									

2-2 資料の利用

(1) 貸 与

①館資料

分 野	資 料 名	点 数	申 請 者	使用目的（展覧会名）
考 古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	吹田市立博物館	常設展示
考 古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市文化資料館	常設展示
模 型	第4回内国勸業博覧会	1	京都国立近代美術館	特別展「前衛都市・モダニズムの京都」

②管理資料

分野	資料名	点数	申請者	使用目(展覧会名)
日本画 ・版画	佐々木豊「風景(農)」ほか	15	京都府文化環境部文化芸術室	京都府市内の展示のため
日本画	源崎「双龍図」 (吉川観方コレクション)	1	広島県立美術館	「一知られざるサムライ・ アトー 大名庭園展」
日本画	三橋節子「湖の伝説(余呉の天女)」	1	東京都美術館、読売新聞東京本 社事業局、美術館連絡協議会	「日本の美術館名品展」
日本画	秋野不矩「初冬」ほか	2	日本経済新聞社 大阪本社 企画事業部	奥田小由女文化功労者顕彰記念 「女流作家巨匠展」
日本画	諸家「天籟画帖」	1	京都府立山城郷土資料館	企画展「大倉笠山ー南山城の文人画家」
日本画	正井和行「汀」ほか	5	明石市立文化博物館	企画展 郷土作家シリーズ「月影さやかに 一静かなる心象・没後10年 正井和行展」
陶磁器 ・金工	六代清水六兵衛「三彩緑濁四方花瓶」 ほか	2	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
陶磁器 ・歴史	京都舎密局看板ほか	19	京都国立近代美術館	京都新聞創刊130年記念 京都学「前衛 都市・モダニズムの京都」1895-1930展
染 織	北村武資「紅地透文羅裂地」ほか	2	源氏物語ミュージアム	特別展「源氏物語千年紀 匠の美と技」
陶磁器	青木木米「白磁木瓜形水注」ほか	4	明石市立文化博物館	兵庫の陶磁'09「煎茶の器展」
日本画	西山英雄「さい果て」ほか	4	鹿児島市立美術館	「没後20年 西山英雄展」
日本画	今尾景年「四時花木群蟲図」	1	横浜美術館	横浜開港150周年記念 横浜美術館開館 20周年記念「大・開港展ー徳川将軍家と 幕末明治の美術」
染 織	鼠羽二重地四季花束繡染裾文様振袖 (吉川観方コレクション)	1	サントリー美術館	特別展「美しの和紙 ー天平の昔から未来へー」
金 工	小林尚珉「鉄象嵌香炉」	1	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
染 織	北村武資「紅地透文羅裂地」ほか	2	南丹市立文化博物館	特別展「源氏物語千年紀 匠の美と技」
日本画	鈴木松年「八岐の大蛇退治図」 (吉川観方コレクション)	1	奈良県立美術館	平城遷都1300年祭プレ展示 特別展「神話 ～日本美術の想像力～」
日本画	土佐光武「神武天皇像」 (吉川観方コレクション)	1	奈良県立美術館	平城遷都1300年祭プレ展示 特別展「神話 ～日本美術の想像力～」
日本画	小野竹喬「曇り日の海」ほか	2	大阪市立美術館、笠岡市立竹喬 美術館、東京国立近代美術館、 毎日新聞社総合事業局	特別展「生誕120年 小野竹喬展」
日本画	野呂介石「池大雅居室図」	1	和歌山県立博物館	「野呂介石展」
洋 画	向井潤吉「根来寺界限」	1	和歌山県立近代美術館	「描かれた紀伊山地の霊場と参詣道展」
人 形	大林蘇乃「青衣少女」ほか	5	岡山県立美術館	「もっと伝統工芸 技と美の出会い」
日本画 ・風俗 ・陶磁器	安達真速「鳥獣人物戯画甲巻(模本)」 ほか	8	江戸東京博物館	「いけばな～歴史を彩る日本の美～」
郷土玩具	朧コレクション 郷土玩具	15	高麗美術館	高麗美術館新春特別展「朝鮮虎展」
洋 画	向井潤吉「奥多摩春景」ほか	6	朝日新聞社事業本部	「向井潤吉展」
洋 画	向井潤吉「中山道番場宿」ほか	3	朝日新聞社事業本部	「向井潤吉展」
				合計 25件 104件

(2) その他

	撮 影	特別観覧	寄託資料一時持ち出し					
			分野	資料名	点数	申請者	使用目的	計
館 資 料	0	1件	考 古	デンマーク石器コレクション	21	古代学協会	研 究	1件 21点
管理資料	52件 97点	15件 104点	歴 史	放下鉾染織品	11	放下鉾保存会	展 示	1件 11点
			歴 史	大船鉾用具 御唐櫃ほか	124	四条町大船鉾保存会	展 示	1件 124点
			歴 史	緋緘小札大鎧ほか	4	鞍馬火祭保存会	祭 礼	1件 4点

3. 展示活動

3-1 常設展示

(1) 歴史展示

歴史の常設展示は、大きく二つの部分に分けられる。一つは京都の町の歴史の概観的な展示で、平安京以前の京都盆地の姿を示すプロローグに始まり、平安京の誕生から明治・大正までを四つのテーマに分けて展開する。いま一つは、ある時間的な幅のなかでは位置づけることのできない文化事象から、町衆によって育まれてきた京都文化を代表する四つのテーマを選んで展示する集中展示であり、あわせてそれらが繰り広げられた場としての京都を絵画資料に見るものである。

この歴史の常設展示は、模型や映像・図表を中心に説明的に展開することを原則としているため、実物資料が大変少ない展示となっており、時折不満の声も聞かれた。その欠を補うという意図もあって、2001年度から歴史展示室の北端に展示ケースを新設して、新たに「特別陳列コーナー」を設けた。ここでは、一定のテーマを設定し、ふさわしい資料を主として館蔵資料と寄託資料の中から選んで展示している。

「特別陳列コーナー」の設置に伴い、スペースの都合上、「国際都市京都」のコーナーと「歴史情報サービス」とは廃止した。それ以外の展示は基本的には大きな変化はないので、ここでは展示替えに関するデータのみを記す。概観展示ならびに集中展示の詳細については『京都文化博物館 10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

① 特別陳列コーナー

◇ 龍馬からの手紙

～坂本龍馬書簡集と龍馬ゆかりの品々～

概要：2010年のNHK大河ドラマに坂本龍馬が決定したことをうけ、来館者の多いゴールデンウィークの時期に、京都府立総合資料館蔵（当館管理）の龍馬ゆかりの遺品を展示し、広く紹介することを目的に展示した。

期間：2009年4月7日（火）～6月14日（日）

作品：坂本龍馬書簡集1巻（龍馬書状5通を含む）、坂本龍馬所用鐔1点、薩摩九烈士遺物鎗の穂先1点など

担当者：横山和弘

◇ 弥生時代から古墳時代へ

～八幡市・内里八丁遺跡の発掘調査より～

概要：京都府八幡市所在の内里八丁遺跡で当館が行った発掘調査の出土資料のうち、西暦3

世紀前後の弥生時代から古墳時代にかけての時期の土器類や、石鍬・石庖丁、木製臼・鎌など農耕具も展示し、平安京以前の京都の様子を紹介した。

期間：2009年6月16日（火）～8月16日（日）

作品：内里八丁遺跡出土の弥生土器・石器、古墳時代土師器・須恵器・木器など71点

担当者：植山 茂

◇ 京の風景～狩野益信筆 洛中洛外図屏風～

概要：狩野探幽の弟子である狩野益信が描いた淡彩の洛中洛外図を紹介した。筆墨を主にし、淡い朱を混じえて粗略な感じに描いた屏風で、右隻には誓願寺から清水寺、左隻には八幡から大徳寺までを描いている。

期間：2009年8月18日（火）～10月18日（日）

作品：狩野益信筆 洛中洛外図（六曲一双）

担当者：横山和弘

◇ 「古典の日」記念 王朝文学の雅び ～重要文化財 大島本源氏物語～

概要：11月1日の「古典の日」にあわせて、『源氏物語』の写本のうちでも特に注目されている大島本『源氏物語』（重要文化財）を紹介した。桐壺・紅葉賀・葵・賢木の巻から有名な場面を紹介した。

期間：2009年10月20日（火）～12月20日（日）

作品：大島本『源氏物語』（重要文化財）より、桐壺・紅葉賀・葵・賢木（4冊）

担当者：横山和弘

◇ 幕末前夜の風流～ちょうちょう踊の図～

概要：江戸時代末期の天保10年春に京都で突発的に流行した豊年踊りは、仮装した踊り手の集団が市中に溢れた。この群舞は上方では評判になり、多くの画家がこの踊りの状況を描いている。あまり知られていない幕末前夜の京都の町中で繰り広げられた群衆の踊りを屏風絵などで紹介した。

期間：2009年12月22日（火）

～2010年2月7日（日）

作品：「天保踊図屏風」六曲一隻 ほか

担当者：植山 茂

◇京都府所蔵の雛人形

概要：3組の有職雛を中心に、古今雛や立雛など、9組の雛人形を展示した。有職雛は、衣装の様式の違うもの（衣冠・直衣・狩衣）を1組ずつ選び、違いが来館者にわかりやすく伝わるよう工夫した。また、花車置物、

犬笛など雛人形とともに飾られることの多い関連資料や、人気の高い御所人形を併せて展示した。

期間：2010年2月9日(火)～4月4日(日)
作品：有職雛(衣冠) 江戸時代後期 ほか
担当者：林 智子

②展示替え(概観展示・集中展示)

展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間
武者の世に	京に集う	茶器一式(出土品)	8	2003.6.17～
京洛四季	京の商い	煙草入屋看板・生掛屋看板・売薬手提箱五合榭・一升榭・糸秤(*)	5	～2009.6.14
		看板・暖簾・算盤箱・一斗枰・天秤(*)	5	2009.6.16～
古都飛翔	明治の洋食器	染付草花模様紅茶碗・染付草花模様蓋付平鉢(以上、三代清風与平作)／染付草花模様台付盛皿(幹山伝七作)／染付ブドウ酒呑(和気亀亭作)／染付草花模様皿(四代高橋道八作)／染付四季花卉模様肉皿(三代清水六兵衛作)(*)	12	～2009.5.17
		染付草花模様砂糖入・染付草花模様蓋付水鉢・染付草花模様蓋付鉢・染付草花模様台付盛皿(以上、幹山伝七作)／染付ブドウ酒呑(和気亀亭作)／染付四季花卉模様肉皿(三代清水六兵衛作)(*)	11	2009.5.19～2009.10.18
		染付草花模様紅茶碗(三代清風与平作)／染付草花模様ソース鉢(和気亀亭作)／染付草花模様皿(四代高橋道八作)／染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様小水差・染付草花模様肉皿(以上、幹山伝七作)(*)	7	2009.10.20～2010.3.15
		染付草花模様小水差・染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様粟味入・染付草花模様小判形皿・染付草花模様蓋付水鉢・染付草花模様蓋付鉢・染付草花模様砂糖入(以上、幹山伝七作)／染付草花模様紅茶碗(三代清風与平作)(*)	8	2010.3.17～
宗家の地		琵琶の家一琵琶・源氏物語絵巻(複製)(**/*)	3	2009.3.17～2009.6.14
		和歌の家一冷泉家七夕色紙・藤原氏系図・角罍(**/*)	3	2009.6.16～2009.9.13
		蹴鞠の家一蹴鞠他(3点)・関係写本(3件)(*/**)	6	2009.9.15～2009.12.20
		香道一香炉・香道具・競馬香道具・十種香之記・図書「十種香」(*)	5	2009.12.22～2010.3.14
		琵琶の家一琵琶・源氏物語絵巻(複製)(**/*)	3	2010.3.16～2010.6.20
能と狂言		金地夕顔老女扇・紺地蝶丸文鬘帯・紅地蓴文鬘帯・鱗文腰帯・紺地雨龍文腰帯(協力：金剛家)	5	2009.3.17～2009.6.14
		狂言面一武悪・猿・延命冠者(協力：茂山家)	3	2009.6.16～2009.9.22
		西王母人物画葛扇・花丸文腰帯・霞鶯文腰帯・紅地秋草文鬘帯・納戸地秋草文鬘帯(協力：金剛家)	5	2009.9.23～2009.12.20
		狂言面一福の神・武悪・乙(協力：茂山家)	3	2009.12.22～2010.3.14
		舞鞆鼓・花軍人物画葛扇・納戸地鶯唐草文鬘帯・紺地割入菱文鬘帯・金地牡丹唐草文腰帯(協力：金剛家)	5	2010.3.16～2010.6.27
匠の世界		壘(協力：中村三次郎商店)	一式	2009.1.27～2009.4.19
		京の着物文化を支えた丹後の匠(協力：京丹後市きもの交流会)	一式	2009.4.21～2009.7.20
		木版(協力：芸艸堂)	一式	2009.7.22～2010.2.14
		指物(*)	一式	2010.2.16～2010.5.23
京のまつり		祇園祭月鉦模型、扇(*)	2	2009.3.17～2009.6.14
		祇園祭長刀鉦模型(**)	1	2009.6.16～2009.9.13
		牛祭 紙面(*/**)	8	2009.9.15～2009.12.20
		祇園祭月鉦模型(**)	1	2009.12.22～2009.3.14

※()内の*印の資料は京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)、**印の資料は当館蔵

(2) 美術・工芸展示

◇京都の美術・工芸展1 京都府所蔵品展「春から夏へ」

会 期：2009年4月1日(水)～5月27日(水)
 [50日間]
 休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)、
 ※5月7日は臨時開館
 会 場：3階美術・工芸展示室
 入場料：一般500円/大学生400円/高校生以下無料
 主 催：京都府、京都文化博物館

担当者：洲鎌佐智子
 概 要：美術作品で美しい季節を味わってもらおう
 と、京都府所蔵品のなかから、「春から夏
 へ」というテーマに沿った絵画や工芸品の
 優品を選びすぐって紹介したもの。
 作品数：74点

「春から夏へ」作品一覧

分 野	作 品 名	作 者 等	年 代	分 野	作 品 名	作 者 等	年 代
日本画	深山の春	秋野 不矩	1992年	洋 画	筑後柳川の春	向井 潤吉	1969年
日本画	堤	池田 遙邨	1969年	洋 画	青いジュボン	山田 新一	1985年
日本画	山桜に鷹鷲図	大原 吞舟	江戸時代後期	版 画	アスパラガス・パラダイス	山本 容子	1977年
日本画	菖蒲	岡崎 忠雄	1992年	陶 芸	金鳳花肉彫白磁花瓶	河合卯之助	1937-38年
日本画	八重桜図	織田 瑟瑟	江戸時代後期	陶 芸	牡丹に蝶文色絵師壺	河合卯之助	1938-39年
日本画	楊貴妃桜図	織田 瑟瑟	江戸時代後期	陶 芸	金彩菖蒲四方飾皿	五代 清水六兵衛	1928年
日本画	梅林	金島 桂華	1922年	陶 芸	白 朝顔香炉	五代 清水六兵衛	1929年
日本画	婦人と小僕図	祇園 井特	江戸時代後期	陶 芸	古稀彩花菖蒲花瓶	六代 清水六兵衛	1976年
日本画	祇園夜桜図	岸 竹堂	1853年	陶 芸	茶碗桜	楠部 彌弍	1980年
日本画	糸桜に小禽図	岸 竹堂	明治時代	陶 芸	茶碗若草	楠部 彌弍	1950年
日本画	桜樹遊猿図	岸 連山	江戸時代後期	陶 芸	彩 静暁飾皿	楠部 彌弍	1983年
日本画	憩う土	黒光 茂樹	1973年	陶 芸	彩 夕顔飾皿	楠部 彌弍	1984年
日本画	観桜美人少女の図	月岡 雪齋	江戸時代後期	陶 芸	青華磁牡丹唐花鳥文花瓶	三代 清風 与平	1897年
日本画	緑韻清流	堂本阿岐羅	1992年	陶 芸	色絵夏椿文扁壺	竹中 浩	2001年
日本画	花映りて水匂う	堂本 元次	1992年	陶 芸	釉彩椿水仙文皿	徳力孫三郎	1980年
日本画	桜に目白図	長谷川玉峰	江戸時代後期	陶 芸	色絵薔薇蝶絵花瓶	中島 清	1947年
日本画	朝の庭	濱田 観	1968年	陶 芸	色絵紫陽花鉢	仁阿弥道八	19世紀後期
日本画	小径	濱田 昇児	1992年	陶 芸	したれ桜	村井 紀炎	1991年
日本画	左近の桜図	広瀬 花隠	1818年	陶 芸	塩釉刷毛目枇杷の図六角花瓶	森野 嘉光	1941年
日本画	廊下桜図	広瀬 花隠	江戸時代後期	陶 芸	朝顔文茶碗		江戸時代後期
日本画	遊論追啄	福田 翠光	1932年	染 織	山ぐにの春	稲垣稔次郎	1954年
日本画	薄明華(芥子)	藤田 正美	1992年	染 織	騰織染屏風 潮の譜	佐野 猛夫	1976年
日本画	月下桜図	円山 応瑞	江戸時代後期	染 織	金通縮緬堰出友禅訪問着 潮音	羽田 登	1981年
日本画	花と短冊図	三熊 思孝	江戸時代後期	染 織	沫雪流る	福本 潮子	1982年
日本画	野草	三橋 節子	1967年	染 織	かりふらわーとうど	三浦 景生	1983年
日本画	観桜美人図	三島 上龍	江戸時代後期	染 織	紅縮緬地桜春草孔雀文様打 掛		大正初期
日本画	月に桜図	三宅 呉暁	明治時代	漆 芸	海渡る蝶(螺鈿銀彩蒔絵)	伊藤 裕司	1978年
日本画	マンゴーの女	三輪 晁勢	1972年	漆 芸	乾漆 あじさいの函	鈴木 雅也	1995年
日本画	皇寺春暁	武藤 彰	1980年	漆 芸	透胎 華の函	鈴木 雅也	1991年
日本画	桜花遊君図	森 一鳳	江戸時代後期	漆 芸	百合花色紙短冊篋	堂本 漆軒	1955年
日本画	霄	山本 倉丘	1978年	漆 芸	きんま彫大棗わらび	眞鍋 光男	1974年
日本画	山桜に猿図	山本 桃谷	1890年	人 形	陽光	西村 喜代	1994年
日本画	桜下美人図	不 詳	江戸時代後期	人 形	やすらい祭	ひこばえ会 (代表：岡 本正太郎)	1972年
洋 画	京都三大馬祭(藤森神社・ 駈ヶ馬上賀茂神社・競馬 下鴨神社・流鏝馬神事)	井沢 元一	1981年	人 形	菜摘み	平中 歳子	1974年
洋 画	水中花	今井 憲一	1985年	人 形	衣裳人形 祇園祭鉾稚児		1959年
洋 画	朝霧	川端弥之助	1966年				
洋 画	夏の子 No.1	小牧源太郎	1951年				
洋 画	夏の子 No.2	小牧源太郎	1951年				
洋 画	ばら	霜鳥 之彦	1965-70年				

※所蔵は京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)

◇京都の美術・工芸展2 「日本画」展

会 期：2009年10月2日(金)～11月15日(日)
[39日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：3階美術・工芸展示室

入場料：一般500円/大学生400円/高校生以下無料

主 催：「日本画」展実行委員会、京都文化博物館、
日本経済新聞社、京都新聞社

後 援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都
市教育委員会、京都商工会議所

特別協賛：株式会社ワコールホールディングス、京
セラ株式会社

協 賛：大日本印刷株式会社、サントリー株式会社
担当者：畑 智子

入場者：37,882人(1日平均971人)

概 要：京都を代表する企業である京セラ(創立50
周年)とワコールホールディングス(同60
周年)の創業を記念し、両社が所蔵する日
本画、例えば上村淳之、片岡球子、加山又
造、杉山寧、東山魁夷、平山郁夫ら戦後日
本画壇を代表する巨匠の作品45点を展示。

これらの日本画は、両社が国際親善を促
進するために当代の優れた日本画家に制作
を依頼し、1885年-86年に「現代日本画」
展としてパリ・ロンドン・バルセローナ・
バンクーバー等5カ国7都市を巡回した。
本展はこれらのうち45作品を京都の地で
あらためて鑑賞する回顧展であり、企業の
所蔵作品を見ることのできる希少な機会と
なった。また、同時に1995年に制作され
た10冊の「京の絵本」の原画の一部も併
せて展示した。

作品数：日本画45点、絵本原画81点

講演会：3階映像ホール

10月10日(土) 午前11時～12時

島中光亨先生『「現代日本画」展の思い出』

参加者数：99名

展示解説：3階展示室

10月14日(水) 午後2時～ 上村淳之先生

10月28日(水) 午後2時～ 竹内浩一先生

「日本画」展作品一覧

	作 品 名	作 家 名	所 蔵		作 品 名	作 家 名	所 蔵
1	陸中海蔵晨輝	麻田 鷹司	ワコール・ホールディングス	29	秋意	田淵 俊夫	ワコール・ホールディングス
2	刈田余情	池田 遙邨	京セラ	30	暮雪	中村 宗弘	京セラ
3	存在	伊藤 紫虹	京セラ	31	阿蘇の夜	西山 英雄	京セラ
4	雲たちの夜	岩橋 英遠	ワコール・ホールディングス	32	舞妓	島中 光亨	京セラ
5	池畔新雪	上原 卓	京セラ	33	静亮	林 功	ワコール・ホールディングス
6	雪野	上村 淳之	京セラ	34	薔薇	林 潤一	ワコール・ホールディングス
7	暖日	上村 松篁	京セラ	35	霏烟神瀑	稗田 一穂	京セラ
8	薔薇刑	大島 哲以	ワコール・ホールディングス	36	山霧幽玄	東山 魁夷	京セラ
9	曼荼羅華	大野 椒嵩	ワコール・ホールディングス	37	奇峰湧雲	平川 敏夫	京セラ
10	朱不二	大山 忠作	ワコール・ホールディングス	38	平等院	平山 郁夫	京セラ
11	菊華	岡崎 忠雄	ワコール・ホールディングス	39	海の風景	福井 爽人	ワコール・ホールディングス
12	霧晴るゝ	奥田 元宋	ワコール・ホールディングス	40	薄紅	堀 泰明	ワコール・ホールディングス
13	春雪不二	小山 硬	京セラ	41	散る秋	堀 文子	京セラ
14	暖林	加倉井和夫	ワコール・ホールディングス	42	栗	牧 進	ワコール・ホールディングス
15	浮世絵師 歌川国貞	片岡 球子	ワコール・ホールディングス	43	花かけ	松尾 敏男	京セラ
16	漁火	加藤 東一	京セラ	44	歌舞伎濫觴 出雲阿 國	森田 曠平	ワコール・ホールディングス
17	黄山煙雨	下保 昭	京セラ	45	山の辺新秋	吉田 善彦	京セラ
18	蝶	加山 又造	ワコール・ホールディングス	46	「京の絵本」 カバー表紙絵	上村 松篁	京都府
19	心円	工藤 甲人	京セラ	47	「桐壺(源氏物語)」 (「京の絵本」)	島中 光亨	京都府
20	冬の音	小泉 智英	ワコール・ホールディングス	48	「安寿と厨子王」 (「京の絵本」)	堀 泰明	京都府
21	岩山図	小松 均	ワコール・ホールディングス	49	「酒吞童子」 (「京の絵本」)	下村良之助	京都府
22	富士	今野 忠一	京セラ	50	「ものくさ太郎」 (「京の絵本」)	林 潤一	京都府
23	雪映大和路	後藤 純男	京セラ	51	「羅生門」 (「京の絵本」)	竹内 浩一	京都府
24	游	下田 義寛	ワコール・ホールディングス				
25	遙翔	下村良之介	ワコール・ホールディングス				
26	迪	杉山 寧	ワコール・ホールディングス				
27	午後の花と鳥	高山 辰雄	ワコール・ホールディングス				
28	越	竹内 浩一	京セラ				



「日本画」展ちらし



「受け継いでいく祇園祭」展ちらし

◇京都の美術・工芸展3 世界無形文化遺産登録記念企画展示「受け継いでいく祇園祭」

会 期：2009年11月23日(月・祝)
 ~2010年1月11日(月・祝) [37日間]
 休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)、
 年末年始(12月28日~1月4日)
 会 場：3階美術・工芸展示室
 入場料：一般500円/大学生400円/高校生以下無料
 主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞社
 共 催：古典の日推進委員会
 後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委
 員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、
 京都市観光協会、歴史街道推進協議会、
 NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京
 都
 協 力：財団法人祇園祭山鉾連合会
 担当者：市川彰、横山和弘、林智子
 入場者：13,628人(1日平均368人)
 概 要：2008年7月、文化庁は、国際連合教育科
 学文化機関(ユネスコ)が無形文化遺産保
 護条約に基づき2009年に作成する世界の
 代表的な無形文化遺産のリストに、「京都
 祇園祭の山鉾行事」の登録を提案すると発
 表した。この提案を受け、本年秋のユネス
 コ政府間委員会で、祇園祭の「世界無形文
 化遺産登録」が正式に決定された。

周知のように、祇園祭は、わが国を代表
 する祭礼の一つとして多くの人々に愛され
 てきた。今回、それが世界の代表的な無形
 文化遺産に登録されることは、京都の新た
 な誇りといえる。本展示会においては、こ
 の祇園祭の世界無形文化遺産登録を記念
 し、平安時代以来の歴史と伝統をもつ祇園
 祭を、近世から近現代の歴史資料・美術資
 料、さらには映像資料などを組み込みなが
 ら展示紹介した。

主な展示資料としては、京都府立総合資
 料館に寄託されている放下鉾・大船鉾の懸
 装品などの祇園祭関係資料、同館所蔵の日
 本画・古記録・郷土玩具などの美術資料や
 歴史資料、さらには京都市文化財保護課の
 協力のもと、京都市で作成された貴重な祇
 園祭の映像資料も展示した。

作品数：祇園祭関連資料72点

講演会：別館ホール

12月19日(土) 午後2時~3時30分
 吉田孝次郎氏(財団法人祇園祭山鉾連合会
 副理事長)「山鉾風流と渡来染織品につい
 て」

参加者数：50名

「受け継いでいく祇園祭」展作品一覧

作 品 名	作 者 等	時 代	所 蔵
祇園社絵図 (写真パネル)	隆円筆	元徳三年 (1331)	(原本は京都・八坂神社蔵)
都名所図会 卷之三	秋里籬島編	安永九年 (1780)	京都文化博物館蔵
祇園祭礼図屏風		江戸時代前期 (17世紀)	大阪歴史博物館蔵
祇園祭礼図屏風		明暦二年 (1656)	個人蔵
祇園祭礼絵巻		江戸時代前期 (17世紀)	個人蔵
祇園御本地		江戸時代前期 (17世紀)	京都府立総合資料館蔵
祇園会細記		江戸時代中期 (18世紀)	京都府立総合資料館蔵
祇園会鉾記		元文二年 (1737)	京都府立総合資料館蔵
山鉾由来記		宝暦七年 (1757)	京都府立総合資料館蔵
都名所図会 卷之二	秋里籬島編	安永九年 (1780)	京都文化博物館蔵
祇園会山鉾之由来	有楽斎長秀画	天保七年 (1836)	京都府立総合資料館蔵
六月十四日祇園会山鉾列書・祇園会御祭礼行列次第	有楽斎長秀画	江戸時代後期 (19世紀)	京都府立総合資料館蔵
祇園祭の長刀鉾		昭和時代 (20世紀)	京都府立総合資料館蔵*
祇園祭の長刀鉾		昭和時代 (20世紀)	京都府立総合資料館蔵*
祇園祭の神輿		昭和時代 (20世紀)	京都府立総合資料館蔵*
祇園祭の船鉾		昭和時代 (20世紀)	京都府立総合資料館蔵*
祇園祭の船鉾		昭和時代 (20世紀)	京都府立総合資料館蔵*
祇園祭の船鉾		昭和時代 (20世紀)	京都府立総合資料館蔵*
毛綴墨絵付霞形獅子毬文等胴掛		李朝・19世紀	放下鉾保存会蔵
緞通大唐花章文後掛		ペルシャ・18世紀	放下鉾保存会蔵
緞錦日輪鳳凰額唐子嬉遊図文見送		明・17世紀	放下鉾保存会蔵
錦牡丹鳳凰唐子文見送		清・18世紀	放下鉾保存会蔵
印花布花つなぎ文胴掛		オランダ・19世紀	放下鉾保存会蔵
毛綴墨絵付霞形鶴文胴掛		李朝・19世紀	放下鉾保存会蔵
緋羅紗地波清龍文様刺繍 舵羽板幕		江戸時代後期 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
窓絵唐草文様緞錦額		江戸時代後期 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
大船鉾図	中島荘陽筆	昭和五年 (1930)	四条町大船鉾保存会蔵
金地雲龍文様錦天水引幕		江戸時代後期 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
緋羅紗地波清龍文様刺繍一番水引幕		江戸時代後期 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
緋地龍文様緞錦後掛幕		明末清初 (17世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
御唐櫃 (菊御紋入)		明治時代 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
大金弊		文化十年 (1813)	四条町大船鉾保存会蔵
燭台		江戸時代後期 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
三宝		江戸時代後期 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
錫瓶子		江戸時代後期 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
緋地波清龍文様緞錦前掛幕		江戸時代後期 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
大船鉾図	幸野椗嶺筆	明治時代 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
緋羅紗地波清龍文様刺繍一番水引幕		江戸時代後期 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
緋羅紗地鳳凰文様刺繍鱸屋欄縁下水引幕		江戸時代後期 (19世紀)	四条町大船鉾保存会蔵
鉦	南條勘三郎作	天保十年 (1839)	四条町大船鉾保存会蔵
大船鉾図	中島荘陽筆	昭和七年 (1932)	四条町大船鉾保存会蔵
京都府発行文書額		明治八年 (1875)	四条町大船鉾保存会蔵
函谷鉾 (四条東洞院辺り)	黒川翠山撮影	明治四十一年 (1908) 頃	京都府立総合資料館蔵
南観音山 (三条寺町辺り)	黒川翠山撮影	明治四十年 (1907) 頃	京都府立総合資料館蔵
橋弁慶山 (三条富小路辺り)	石井行昌撮影	明治時代末期 (20世紀)	京都府立総合資料館寄託
船鉾 (松原柳馬場辺り)	石井行昌撮影	明治四十年 (1907) 頃	京都府立総合資料館寄託
北観音山 (三条富小路辺り)	石井行昌撮影	明治四十一年 (1908) 頃	京都府立総合資料館寄託
放下鉾 (四条室町辺り)	石井行昌撮影	明治四十五年 (1912)	京都府立総合資料館寄託
月鉾 (四条高倉辺り)	石井行昌撮影	大正二年 (1913)	京都府立総合資料館寄託
白楽天山 (四条高倉辺り)	石井行昌撮影	大正時代 (1912 - 1926)	京都府立総合資料館寄託
祇園会太子山雛形	岡本正太郎作	昭和時代 (20世紀)	京都国立博物館蔵
長刀鉾模型		昭和時代 (20世紀)	京都文化博物館蔵
菊水鉾模型	ひこばえ会作	昭和四十五年 (1970)	京都府立総合資料館蔵*
月鉾模型		昭和時代 (20世紀)	京都文化博物館蔵
祇園会占出山雛形	岡本正太郎作	昭和時代 (20世紀)	京都国立博物館蔵
祇園祭	谷野圭一作	昭和四十八年 (1973)	京都府立総合資料館蔵*
祭りの詩がやってきた	谷田頼郎作	昭和六十一年 (1986)	京都府蔵
山鉾巡行末広 (白楽天山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (南観音山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (郭巨山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (山伏山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (占出山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (黒主山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (鯉山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (菊水鉾)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (菊水鉾)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (浄妙山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (橋弁慶山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (保昌山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (伯牙山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (芦刈山)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*
山鉾巡行末広 (長刀鉾)		昭和四十九年 (1974)	京都府立総合資料館蔵*

※「京都府立総合資料館蔵*」は京都文化博物館管理

◇京都の美術・工芸展4 「池大雅と日本画の名品」展

会 期：2010年1月16日(土)～1月31日(日)
 [14日間]
 休館日：毎週月曜日
 会 場：3階美術・工芸展示室
 入場料：一般500円/大学生400円/高校生以下無料
 主 催：京都府、京都文化博物館
 担当者：長舟洋司、市川 彰
 概 要：池大雅は、江戸時代中期の京都の人。書画
 や篆刻などの世界で第一流の活躍をした。
 画は特に独自の高みに達して、日本の文人
 画の大成者とみなされている。この展示で

は、年始にふさわしい吉祥の書画を中心に
 紹介した。大雅ののびやかで明澄な筆遣い
 と、一見平易な筆致に秘められた精神性が
 見どころ。併せて、京都府所蔵の絵画から
 日本画の名品を精選して展示した。

作品数：日本画49点
 展示解説：3階展示室

1月23日(土) 午後2時～3時
 佐々木もと子氏(池大雅美術館館長)「池
 大雅の書画について」
 参加者数：21名

「池大雅と日本画の名品展」作品一覧

分野	作 品 名	作家名	制作年	分野	作 品 名	作家名	制作年
日本画	池大雅肖像	月 峰	江戸時代後期	日本画	青蓮院の老木	山口 華楊	昭和48年
日本画	池大雅居室図	野呂 介石	寛政4年	日本画	平安神宮	秋野 不矩	昭和48年
日本画	金山	池 大雅	享保10年	日本画	大文字の送り火	池田 遙邨	昭和48年
日本画	杲堂之偈	杲堂 元昶	享保14年	日本画	祇園の町並	廣田 多津	昭和48年
日本画	一富士二鷹三茄子図	池 大雅	江戸時代中期	日本画	大江山連峰	佐々木邦彦	昭和47年
日本画	墨蘭図	池 大雅	江戸時代中期	日本画	黒谷村落	黒川富士雄	昭和48年
日本画	墨竹図	池 大雅	江戸時代中期	日本画	奈具海岸	奥村 厚一	昭和48年
日本画	天産奇葩図巻	池 大雅	寛延2年	日本画	天橋立	岩澤 重夫	昭和48年
日本画	千字文(天・地)	池 大雅	明和8年	日本画	丹後立岩	澤 宏毅	昭和48年
日本画	和歌懐紙「詠松遐年友和歌」	池 大雅	江戸時代中期	日本画	時の秘鍵	堂本 印象	昭和40年
日本画	墨梅図	池 大雅	江戸時代中期	日本画	赤富士	小松 均	昭和55年
日本画	墨竹図	池 大雅	江戸時代中期	日本画	妙高	河合 健二	昭和55年
日本画	墨竹蕙石図	池 大雅	江戸時代中期	日本画	竹生島	下保 昭	昭和50年
日本画	高士訪隠図屏風	池 大雅	寛延3年	日本画	閑	中路 融人	昭和52年
日本画	柳下童子図屏風	池 大雅	江戸時代中期	日本画	はざまの路	小野 竹喬	昭和8年
日本画	芝草之詩	池 大雅	江戸時代中期	日本画	彩裳	磯田又一郎	昭和42年
日本画	風竹図	池 大雅	江戸時代中期	日本画	二面像	北沢 映月	昭和26年
日本画	般若心経	池 大雅	江戸時代中期	日本画	椿	金島 桂華	昭和31年
日本画	寒山拾得図	池 大雅	江戸時代中期	日本画	白鷺	山口 華楊	昭和36年
日本画	京都御所	川島 睦郎	昭和48年	日本画	華鳥図	黒川富士雄	昭和51年
日本画	木屋町と高瀬川	猪田 青以	昭和48年	日本画	啼く	上村 淳之	平成3年
日本画	愛宕山	大塚 明	昭和48年	日本画	干潟	山本 倉丘	昭和39年
日本画	御室	濱田 観	昭和48年	日本画	縞白鷺	上村 松篁	昭和41年
日本画	龍安寺	武藤 彰	昭和48年	日本画	雪映白鳥	福田 翠光	昭和3年
日本画	比叡山	西山 英雄	昭和48年				

(3) その他館内展示物

① 1 階

a. 本館

- ・「紫式部像」(1階エレベーターホール前)
- ・清水九兵衛「朱装」(1階正面玄関横：屋外)
- ・はぎとり土層(地下図書閲覧室への階段壁面)

b. 別館

- ・礎石(中庭通路脇)
- ・礎盤(中庭通路脇)

② 2 階

- ・梅原龍三郎「富士山の図」

③ 7 階

- ・大甕

3-2 特別展示

(1) 自主企画展

◇「古典の日」記念 特別展「いけばな—歴史を彩る日本の美」

会 期：2009年10月3日(土)～11月15日(日)
[38日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,100円/大生800円/中小生500円

主 催：京都府、京都文化博物館、読売新聞社、文化庁

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 力：財団法人日本いけばな芸術協会

企画協力：いけばな資料館

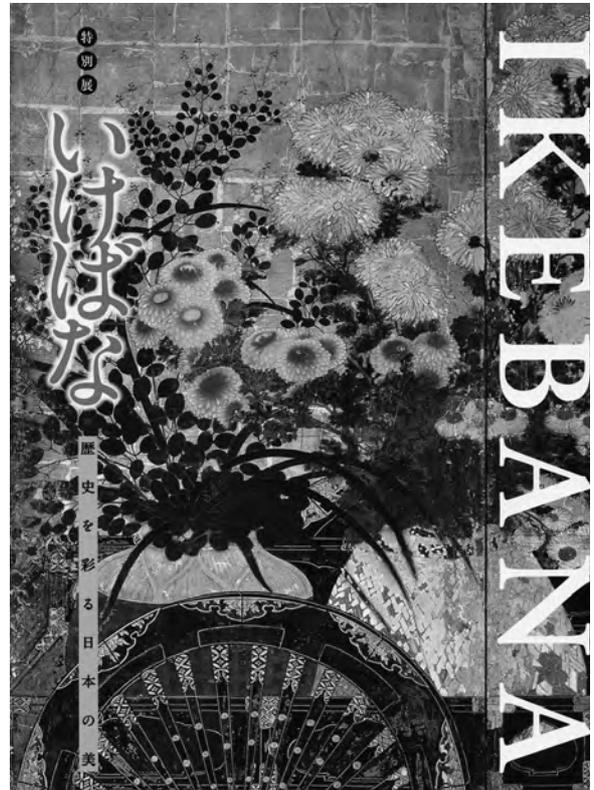
担当者：植山茂、洲鎌佐智子、横山和弘、林智子

入場者：19,142人(1日平均504人)

概 要：「いけばな」は、自然の草花や樹木を素材に表現される日本の伝統的造形芸術である。仏に供える花を源流とし、室町時代から書院飾りの花、連歌会の花、七夕法楽の盛大な花の展覧、そして茶席の花など様々な形に発展した。江戸時代には流派が生まれ花道として確立し庶民層にも広範に普及し、近代以降はとくに女学校での教養としてとり上げられた。また現在では海外にも日本の伝統文化「IKEBANA」として知られている。本展では、このような日本の多彩ないけばなの歴史的展開を、花伝書、絵巻、屏風や花器の名品などでたどり、広く「いけばな」文化を紹介することを目的とした。



「いけばな—歴史を彩る日本の美」展 会場風景



「いけばな—歴史を彩る日本の美」展 図録表紙

本展を構成する資料は、さらに仏画・仏具、公家や僧侶の日記・記録類、江戸時代に多数出版された啓蒙書の類、そして浮世絵などの風俗画までたいへん幅広い分野にわたる。これらによって「いけばな」が、単に花を鑑賞することだけではなく、広く文化的社交の手段であったことを紹介した。また、1階エントランスおよび4階エレベーターホールでは現代の諸流によるいけばな作品を展示したが、展示室内では環境保全のため生の花材が用いられないので、初代池坊専好の豪華な大砂物を「CG映像」で復元したほか、諸流の歴史的ないけばな作品を精巧な造花で再現するなど、立体的な展示を用いて来館者の理解を助ける工夫をした。本展は、いけばなの歴史的展開を本格的に紹介する初めての展覧会として、いけばな関係者のみならず広い層から好評を得た。

【展覧会の構成と主な出品作品】

プロローグ：いけばなの源流

重要文化財 日吉山王本地仏曼荼羅図（延暦寺蔵）、重要文化財 金銅蓮華花瓶（観心寺蔵）、明月記（国立公文書館蔵）

第1章：いけばなの成立

山科家礼記（宮内庁書陵部蔵）、文阿弥花伝書（鹿王院蔵）、花伝書 大巻并座敷荘蔵図（華道家元池坊総務所蔵）、立花図屏風（華道家元池坊総務所蔵）

第2章：豪華になるいけばな

槐記（陽明文庫蔵）、後水尾天皇像（泉涌寺蔵）、重要文化財 池坊専好立花図（曼殊院所蔵）、池坊専好立花図屏風（野村美術館蔵）

第3章：流派の誕生といけばな大流行

古今立花大全（華道家元池坊総務所蔵）、武家邸内図屏風（萬徳寺蔵）、立花風俗色紙（個人蔵）、青楼美人合姿鏡（西尾市岩瀬文庫蔵）、茶の湯と花（平木浮世絵財団蔵）

第4章：はなの器

重要文化財 砧青磁鳳凰耳花生 銘千声（陽明文庫蔵）、重要文化財 色絵瓔珞文花生（仁和寺蔵）、古銅角木花入（藤田美術館蔵）、生花図屏風（財団法人草月会蔵）

エピローグ：いけばなの近現代と広がり

『The Flowers of Japan and the Art of Floral Arrangement』（東京大学大学院工学系研究科建築学専攻蔵）、女礼式十二月寿語録（江戸東京博物館蔵）、小原豊雲書簡集（小原流蔵）

【出品作品数】 158件



「いけばな—歴史を彩る日本の美」展
1階エントランスの様子

【関連行事】

①各流派によるいけばな作品の展示

1階エントランスおよび4階エレベーターホール

10月3日(土)～4日(日)

〔4階〕遠州・芦田一馬氏

〔1階〕小原流・難波佳代子氏

10月10日(土)～12日(月・祝)

〔4階〕草月流・矢部桂萩氏

〔1階〕嵯峨御流・長谷川喜洲氏

10月16日(金)～18日(日)

〔4階〕御室流・川井宏雄氏

〔1階〕京都未生流・松本 司氏

10月23日(金)～25日(日)

〔4階〕松月堂古流・植松賞月氏

〔1階〕専慶流・西阪専慶氏

10月31日(土)～11月3日(火・祝)

〔4階〕未生流・肥原硯甫氏

〔1階〕未生流中山文甫会・中山景甫氏

11月6日(金)～8日(日)

〔4階〕桑原専慶流・桑原仙溪氏

〔1階〕都未生流・大津光章氏

11月13日(金)～15日(日)

〔4階〕池坊・伊藤雅夫氏

〔1階〕池坊・野田唐峯氏

②講演会「いけばなと日本文化」

10月17日(土) 午前10時30分～正午

3階映像ホール

講師：村井康彦氏（国際日本文化研究センター名誉教授、京都市美術館館長）

参加者数：92人

③学芸員によるギャラリートーク

展示室内、各日午後6時から約30分

10月9日(金)、担当：植山、参加者数：約

20人／10月16日(金)、担当：植山、参加

者数：約25人／10月23日(金)、担当：

畑、参加者数：約25人／10月30日(金)、

担当：植山、参加者数：約15人／11月6

日(金)、担当：植山、参加者数：約25人

【関連事業】

平成21年度旧七夕会池坊全国華道展 特別展示
「花絵巻—伝承された心と技—」いま甦る江戸時代の七夕立花会風景

（主催：華道家元池坊総務所・財団法人池坊華道会）

11月13日～15日（3日間）

午前10時～午後6時／6階展示室（入場無料）／入場者：4,806人

(2) 共催展等

◇イタリア美術とナポレオン

会 期：2009年3月27日(金)～5月24日(日)
[52日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)
※ただし5月7日は臨時開館

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,200円/大高生800円/中小生500円

主 催：京都府、京都文化博物館、NHK 京都放送局、NHKプラネット近畿、毎日新聞社

後 援：フランス大使館、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、関西日仏学館、イタリア文化会館-京都、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

協 賛：大伸社

協 力：日本航空

企画協力：アプトインターナショナル

担当者：南 博史

入場者：53,143人(1日平均1,022人)

概 要：展覧会では、ナポレオンの生誕の地として有名な地中海に浮かぶフランス領コルシカ島にあるフェッシュ美術館収蔵品の中で、最も内容が充実している17世紀18世紀のイタリア宗教画や世俗画などを中心とした約80点を展示した。

フェッシュ美術館は、ナポレオンの叔父ジョゼフ・フェッシュ枢機卿(1763-1839)の個人コレクションが基礎となっており、今回もナポレオンのデスマスクをはじめ、ナポレオン一族ゆかりの美術工芸品が含まれている。また、美術館の至宝であるポッティチェッリの「聖母子と天使」が日本初公開された。「ここにはナポレオンの家族の思い出が詰まっています。」という美術館館長のコメントにあるように、今回の展覧会はイタリア美術だけではなく、ナポレオンが皇帝にまで上り詰めた激動時代を背景として、実母と彼ともに歩いたフェッシュ枢機卿の心情が感じられ、美術愛好家だけではなく、歴史に興味を持つ方々も多く入場された。

また、記念演奏会「音楽で楽しむ絵画の世界」(4月11日)には168人、記念講演会「イタリア美術の魅力と歴史」(4月25日)には148人、さらに2回のギャラリートークには多くの参加者があった。



「イタリア美術とナポレオン」展 講演会の様子

【展覧会の構成】

- 第1章 光と闇のドラマー 17世紀宗教画の世界
- 第2章 日常の世界をみつめてー 17世紀世俗画の世界
- 第3章 軽やかに流麗にー 18世紀イタリア絵画の世界
- 第4章 ナポレオンとボナパルト一族

【主な出品作品】

サンドロ・ポッティチェッリ「聖母子と天使」テンペラ、アントニオ・カノーヴァ「ジョゼフ・フェッシュ枢機卿像」大理石、ジョヴァンニ・ベッリーニ「聖母子」テンペラ、フランソワ・ジェラルド「戴冠式のナポレオン1世」油彩、コッラード・ジャクイント「サン・ニコラ・デイ・ロレネージ聖堂のドーム装飾のための習作」油彩

【出品作品数】83件

【関連行事】

- ①記念演奏会「音楽で楽しむ絵画の世界」
4月11日(土) 午後2時～3時30分/別館ホール
演奏：藪田 唯氏(ピアニスト)
司会：阿部星香氏(ハンドベル奏者)
参加者数：168人
- ②記念講演会
「イタリア美術の魅力と歴史—出品作品を中心に」
4月25日(土) 午後2時～3時30分/別館ホール
講師：宮下規久朗氏(神戸大学大学院准教授)
参加者数：148人
- ③学芸員によるギャラリートーク
展示室内、各日午後6時から約30分
4月10日(金)、担当：南
5月15日(金)、担当：畑

◇『白樺』誕生100年 白樺派の愛した美術

会 期：2009年6月6日(土)～7月20日(月・祝)
[39日間]
休館日：月曜日(祝日は開館、翌日休館)
※ただし7月20日は開館
会 場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室
入場料：一般1,200円/大高生800円/中小生500円
主 催：京都府、京都文化博物館、読売新聞社、美術館連絡協議会
後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都
協 賛：ダイワボウ情報システム、ライオン、清水建設、大日本印刷
協 力：調布市武者小路実篤記念館、県立神奈川近代文学館
企画協力：ティー・シー・ディー
助 成：芸術文化振興基金
担当者：長舟洋司
入場者：16,411人(1日平均421人)



「白樺派の愛した美術」展 会場風景

概 要：武者小路実篤や志賀直哉らが明治43年に創刊した『白樺』は、個人主義的な理想を主張し個性の尊重を基調とした文芸雑誌として知られている。大正文芸の主軸を形成して、関東大震災による廃刊まで、14年間にわたり160冊を発行した。

『白樺』はまた、毎号必ず海外の美術作品を写真図版で紹介し、芸術評論を頻繁に掲載する美術雑誌でもあった。のみならず、美術展覧会を主催して18回にわたり開催したほか、美術館の建設をめざして作品を購入するなど、積極的に社会へ関与する、より広がりのある活動も行っている。

芸術において発揮されたすぐれた主体的個性に対して白樺同人が感激し、雑誌や

様々な場面で情熱的共感をもって展開した主張は、若い芸術家から強く支持され、同時代の芸術思潮にも波及した。

この展覧会では、『白樺』がいち早く本格的に紹介したセザンヌやロダン、ロートレックやピアズリーなどの西洋の画家や彫刻家の作品、岸田劉生や梅原龍三郎、高村光太郎など白樺同人と密接に関わった日本の作家の作品に加えて、同人の原稿や書簡など、『白樺』と美術との関わりを多面的に紹介した。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第Ⅰ章 西洋美術への熱狂

ポール・セザンヌ「砂糖壺、梨とテーブルクロス」(ポーラ美術館)、オーギュスト・ロダン「ロダン夫人」(大原美術館寄託)、アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック「彼女たち」(富山県立近代美術館)、アンリ・ルソー「要塞の眺め」(ひろしま美術館)

第Ⅱ章 白樺派の画家たち

梅原龍三郎「横臥裸婦」(西宮市大谷記念美術館)、岸田劉生「壺」(下関市立美術館)、藤島武二「巴里寓居の記念」(いなり記念館)、山脇信徳「雨の夕」(高知県立美術館寄託)、中川一政「草枯れし監獄の横」(大阪市立近代美術館建設準備室)

第Ⅲ章 理想と友情を求めて

『白樺』全冊(個人蔵)、志賀直哉自筆原稿「いのち(『城の崎にて』草稿)」(日本近代文学館)、武者小路実篤自筆原稿「或る青年の夢」(調布市武者小路実篤記念館)、児島喜久雄「木下利玄『紅玉』装丁指示書」(県立神奈川近代文学館寄託)、岸田劉生「劉生凶案画集(武者小路実篤『友情』装丁原画ほか)」(調布市武者小路実篤記念館)

【出品作品数】299件

【関連行事】

①講演会「1910年代の文学『白樺』の人々をめぐって」

7月4日(土) 午後2時～3時30分/別館ホール
講師：紅野敏郎氏(早稲田大学名誉教授、日本近代文学館常任理事)

参加者数：122人

②学芸員によるギャラリートーク

展示室内、各日午後6時から約30分
6月12日(金)、19日(金)、7月10日(金)
担当：長舟

◇藤城清治 光と影の世界展

会 期：2009年8月1日(土)～9月23日(水・祝)
[47日間]

休館日：月曜日(祝日は開館、翌日休館)、
※ただし9月21日は開館

会 場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：一般1,200円/大高生900円/中小生600円

主 催：京都文化博物館、京都新聞社、KBS京都

後 援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、エフエム京都

協 力：株式会社藤城清治事務所、パナソニック株式会社、ヤマハ、ホリプロ、アートプリントジャパン

担当者：森脇清隆、松岡美知世

入場者：92,871人(1日平均1,976人)

概 要：目に見えない透明な光と、その光によって生み出される影とのコントラストにより幻想的な世界を紡ぎ出す影絵は世界中で古くから親しまれてきた。この影絵を、こびとや猫、木馬など、ファンタジックなキャラクターにより、日本で芸術として浸透させたのが画家・藤城清治である。「暮しの手帖」で挿絵、NHK「みんなのうた」や、キャラクター「ケロヨン」の生みの親としても親しまれた。

本展では、白と黒を基調にした初期の作品から、本展を記念して京都をモチーフに創作した新作、油彩画、水彩画を展示。藤城清治の作品展としては過去最大規模の展覧会であり、さざ波のたつ水槽や鏡を用いるなど、光を透過させて見せる影絵独自の演出も行った。

美しく幻想的でありながら、どこかユーモラスでもあり、見るものに郷愁を喚起させる藤城ワールドをファンタジックに展示した。

【主な出品作品】

「春のデュエット」1989年
「生きるよろこび」1995年
「馬がとぶ」2001年
「プレーメンの音楽隊」2003年
「アリスのハート」2005年
「角笛と少年」2005年
「愛よ永遠に」2005年

【出品作品数】

藤城清治の影絵作品を中心に、初期油彩作品から、京都をテーマにした新作、水彩画など、270件

【関連行事】

①藤城清治氏サイン会

3階ほか、各日午後1時30分～
8月16日(日)、22日(土)、9月13日(日)、21日(月・祝)、22日(火・祝)

②学芸員によるギャラリートーク

展示室内、各日午後6時から約30分
8月14日(金)、9月4日(金)
担当：森脇



「藤城清治 光と影の世界展」会場風景

◇【世界無形文化遺産登録記念】平成21年度アイヌ工芸品展「アイヌの美～カムイと創造する世界～」

会 期：2009年11月23日(月・祝)
～2010年1月11日(月・祝) [37日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)、
年末年始(12月28日～1月4日)

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円/大高生700円/中小生400円

主 催：京都府、京都文化博物館、財団法人アイヌ
文化振興・研究推進機構、京都新聞社

後 援：国土交通省、文化庁、北海道、北海道教育
委員会、社団法人北海道アイヌ協会、京都
市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市
観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都
放送局、KBS京都、エフエム京都

出展協力：ロシア民族学博物館、オムスク造形美術
館

担当者：南 博史

入場者：13,657人(1日平均369人)

概 要：ロシア民族学博物館には19世紀から20世
紀初頭にかけて収集されたアイヌ資料が約
2,600点収蔵されており、古い時代のアイ
ヌ文化とその芸術を知る上では好個の資料
である。本展では、「まかなう」「まとう」
「いのる」の3部構成で展示し、あわせてオ
ムスク造形美術館に所蔵されている平沢屏
山が江戸時代末から明治にかけてのアイヌ
の人々を描いた絵画資料を紹介。アイヌの
伝統文化と芸術に親しみながら、アイヌ文
化の理解と振興に寄与することを目的とす
るものであった。

2009年9月、「アイヌ古式舞踊」がユネ
スコの世界無形文化遺産に登録されたこと
もあって入場者の関心も高く、アイヌ工芸
の美を再認識してもらえたものと思う。ま
た、3階美術工芸展示室において同時に世
界遺産登録された祇園祭をテーマに「受け
継いでいく祇園祭」展を開催し、相乗効果
もあって好評をえた。

総入場者は13,657人であったが、初日
に別館ホールで行われた「アイヌ文化フェ
スティバル」では大変多くの入場者があっ
て、講演、楽器演奏、古式舞踊を楽しん
てもらえたとし、5階展示室では「記念写真展
『gen 掛川源一郎が見た戦後北海道』」を
開催し、広くアイヌ文化の紹介ができたこ
とは展示会の波及効果をたかめた。また、
ぶんぱく子ども教室「ムックリづくり」で
は、アイヌの方々の手ほどきを受けて製

作・演奏体験でき、多くの親子(29名)の
楽しんでいる姿が印象的であった。さらに
3回のギャラリートークには計73名の参加
者があった。

【展示会の構成】

- I まかなうーカムイの恵みー
 - II まとうーカムイの装いー
 - III いのるーカムイと語るー
- 特別陳列「平沢屏山～描かれたアイヌの世界～」

【主な出品作品】

「カパリミブ(木綿衣)」(ロシア民族学博物館所
蔵)、「オトホコホペ(煙草入れ)」(ロシア民族学
博物館所蔵)、「トンコリ(五弦琴)」(ロシア民族
学博物館所蔵)、平沢屏山「熊送り図」「夜間サケ
漁図」ほか(オムスク造形美術館所蔵)

【出品作品数】227点(内、平沢屏山アイヌ絵12点)

【関連行事】

- ①アイヌ文化フェスティバル 11月23日(月・祝)
午後1時～4時/別館ホール/参加者数：約600人
 - a. 講演会(午後1時10分～)
講師：佐々木利和氏(国立民族学博物館教授)
 - b. 口承文芸(午後2時10分～)
講師：木幡サチ子氏
(平取町二風谷アイヌ語教室講師)
 - c. トンコリ演奏(午後2時40分～)
星野 工氏(東京アイヌ協会会長)
居壁 太氏(東京アイヌ協会会員)
 - d. アイヌ古式舞踊(午後3時10分～)
鶴川アイヌ文化伝承保存会
- ②ぶんぱく子ども教室
「ムックリを作ってみんなで鳴らしてみよう！」
1月9日(土) /別館講義室/参加者数：29人
1回目：午前10時30分～正午
2回目：午後2時～午後3時30分
- ③学芸員によるギャラリートーク
展示室内、各日午後6時から約30分
12月4日(金)、18日(金)、1月8日(金)
担当：南

【併催展】

記念写真展「gen掛川源一郎が見た戦後北海道」
11月25日(水)～12月2日(水)
午後10時～午後6時/5階展示室(入場無料)
/入場者：736人

◇チュニジア世界遺産「古代カルタゴとローマ展」
～きらめく地中海文明の至宝～

会 期：2010年2月11日(木・祝)～4月4日(日)
[46日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：一般1,300円/大高生900円/中小生600円

主 催：京都府、京都文化博物館、産経新聞社、関西テレビ放送、東映

後 援：外務省、駐日チュニジア共和国大使館、日本チュニジア協会、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、NHK京都放送局、KBS京都、ラジオ大阪、FM802、エフエム京都

協 力：チュニジア共和国文化・遺産保存省、チュニジア国立遺跡研究所(INP)、チュニジア国立博物館群、チュニジア政府観光局、カタール航空

担当者：南 博史

入場者：37,109人(1日平均807人)

概 要：今からおよそ2800年前、海洋民族フェニキア人によって現在のチュニジア地中海沿岸の地域に植民都市カルタゴが建設された。カルタゴは、地中海世界での異文化交流と巧みな海上交易により繁栄をきわめ、大国として長く覇権を握るが、その後勢力を拡大してきた新興国ローマとの死闘の末、英雄ハンニバルを輩出しながらもローマにより壊滅する。しかしその後奇跡的な復活を遂げ、ローマの要衝都市として再び円熟期を迎えるという、その歴史のドラマ性により、カルタゴは多くの人々の関心を呼び、近年フランス、ドイツ、アメリカなどでも大規模な展覧会が開催されている。

本展は、地中海文明の結晶ともいえる美術工芸品や、カルタゴ人の精神性を物語る墓地からの出土品、またローマ時代に花開いた優美な芸術モザイクなど多彩な展示品により、歴史に様々な影響と多くの謎を残したカルタゴのダイナミックな軌跡をたどるものであった。

チュニジア国立博物館群より日本初公開作品9割以上を含む160点余りを展示し、とくに、5m×5mの巨大モザイクをはじめとした17点のモザイク作品群は、多くの来館者の関心を引きいた。



「古代カルタゴとローマ展」会場風景

【展覧会の構成】

- I 地中海の女王カルタゴ
- II ローマに生きるカルタゴ

【主な出品作品】

モザイク「バラのつぼみを撒く女性」(5世紀前半)、モザイク「メドゥーサ」(3世紀)、「ヴィーナス像頭部」(2-3世紀)、「有翼女性神官の石棺」(前3世紀) / 【特別出品】「鎧」(前3-前2世紀)

【出品作品数】160点

【関連行事】

- ①講演会「古代カルタゴからチュニジアへ、アロマセラピーのルーツを探る」
2月13日(土) 午前10時30分～正午 / 3階映像ホール / 講師：ケミリー園子氏 (IAA国際アロマニスト協会会長) / 参加者数：72人
- ②講演会「カルタゴと地中海世界
—ある通商国家の興亡—」
2月27日(土) 午前10時30分～正午 / 3階映像ホール / 講師：佐藤育子氏 (日本女子大学学術研究員) / 参加者数：88人
- ③ワークショップ
「石やガラスで作ってみよう！手作りモザイク教室」
3月13日(土) / 別館2階講義室 / 1回目：午前10時～正午、2回目：午後2時～4時 / 講師：藤平三穂氏 (モザイク作家) / 参加者数：36人
- ④香り体験コーナー
「古代カルタゴの香りを楽しむモザイク香り袋作り」
2月13日(土) 午後1時～5時、2月14日(日) 午前10時～午後5時 / 4階小展示室 / 講師：ケミリー園子氏 (IAA国際アロマニスト協会会長) / 参加者数：76人
- ⑤学芸員によるギャラリートーク
展示室内、各日午後6時から約30分
2月12日(金)、3月26日(金) 担当：南

◇「京都府美術工芸新鋭展～2010 京都工芸ビエンナーレ～」

会 期：2010年1月19日(火)～2月3日(水)

[14日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階特別展示室

入場料：無料

主 催：京都府、京都文化博物館

後 援：京都新聞社、朝日新聞京都総局、毎日新聞
京都支局、読売新聞大阪本社、産経新聞社
京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK
京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京
都商工会議所、京都工芸美術作家協会

担当者：洲鎌佐智子

入場者：4,762人(1日平均340人)

概 要：新進作家の育成を図るとともに、卓抜した
創造性・技術性を備えた作品を紹介するこ
とにより、これからの美術・工芸の一層の
振興を図ることを目的とし、工芸と美術の
特色を活かすため、それぞれの分野を隔年
で開催している。今年度は工芸分野を対象
とし、全体として三回目、工芸としては二
回目となる。

また本展は、審査員推薦作家・大学等推
薦作家からなる「招待部門」と、一般の応
募からなる「公募部門」との二部門から構
成され、公募部門については賞を設けてい
る。今年度は総体的なテーマを「自然との
語り」として、工芸作品の応募を求めた。

【作 品】

大 賞：竹村智之 「春のプリズム」(陶芸)

優秀賞：三木啓樂 飾卓「海鷗うみづねの向こうに」(漆芸)

〔公募部門〕79作品

(分野別：陶芸25、染織30、漆芸6、木竹1、
金工4、人形4、諸工芸9)

〔招待部門〕18作品

◎審査員推薦7作品 ◎大学等推薦11作品

(分野別：陶芸5、染織6、漆芸1、木竹2、金
工1、諸工芸3)

【関連行事】

①出品作家によるギャラリートーク・第1回

1月23日(土) 午後2時～3時

三木啓樂、勝田真由、黒川徹、玉村嘉章、西岡
桂子、笹井史恵、吉本直子、加賀城健、渡邊明、
水野麗利枝の10人の作家が参加

②出品作家によるギャラリートーク・第2回

1月30日(土) 午後2時～3時

竹村智之、三木啓樂、大西陽子、林塔子、馬場
民子、飯田彩愛、関野亮、村田匠也、岡達也、
今井裕之、福本双紅の11人の作家が参加

【併設展示】

「表層の魅力と工芸技術

～金工・漆芸・ガラスから～」

協力：京都精華大学TIC(伝統工芸・産業資料室)

* 2009(平成21)年度特別展一覧

展 覧 会 名	会 期	日 数	入場者数	一日平均	形 態
イタリア美術とナポレオン	2009(3.27) 4.01～5.24	48	49,849	1,039	共催展
『白樺』誕生100年 白樺派の愛した美術	2009.6.6～7.20	39	16,411	421	共催展
藤城清治 光と影の世界展	2009.8.1～9.23	47	92,871	1,976	共催展
いけばな—歴史を彩る日本の美	2009.10.3～11.15	38	19,142	504	主催展
アイヌの美—カムイと創造する世界—	2009.11.23～2010.1.11	37	13,657	369	共催展
京都府美術工芸新鋭展～2010 京都工芸ビエンナーレ～	2010.1.19～2.3	14	4,762	340	共催展
古代カルタゴとローマ展	2010.2.11～3.31(4.4)	42	31,562	751	共催展
計7件		265	228,254	861	

イタリア美術とナポレオン展は年度をまたいだ展覧会のため、ここでは4月1日からの数字を記入している。
古代カルタゴとローマ展は年度をまたいだ展覧会のため、ここでは3月末までの数字を記入している。

ポッティネリ「聖母子と天使」日本初公開

イタリア美術
と
ナポレオン

2009.3.27(金) - 5.24(日)

京都文化博物館

「イタリア美術とナポレオン」展ちらし

『白樺』誕生100年
白樺派の愛した美術

平成21年6月6日(土)~7月20日(月祝)

午前10時~午後6時(金曜日は午後7時30分まで) 入場はそれぞれ閉館の30分前まで

京都文化博物館

「白樺派の愛した美術」展ちらし

SEIJI FUJISHIRO EXHIBITION

藤城清治 光と影の世界展

2009年8月1日(土) - 9月23日(水・祝)

藤城清治サイン会

京都文化博物館

「藤城清治 光と影の世界展」ちらし

「世界無形文化遺産登録記念」
平沢野山アイヌ展

アイヌの美
カムイと創造する世界

11.23(月祝) → 1.11(月祝)

京都文化博物館

「アイヌの美~カムイと創造する世界~」展ちらし



「古代カルタゴとローマ展」ちらし



「京都府美術工芸新鋭展」ちらし

(3) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体験できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等から

テーマを定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は（1）展示会場となる文化施設の事前調査、（2）展示作品の選定、（3）会場での展示指導などに協力している。

府民ギャラリー展示作品一覧

主催者	期間	開催場所	展示内容
京都府	2009. 4.15 ~ 5.18	福知山市佐藤太清記念美術館	「京の四季」から7点、「いのち賛歌」から1点
京都府	2009. 4.22 ~ 7. 2	京都府庁	「京の四季」から6点
京都府	2009. 6.30 ~ 9. 4	京都府庁	「京の四季」から6点
京都府	2009. 7.14 ~ 9.28	宇治市源氏物語ミュージアム	喜多川俵二「有職二階織物小袷 夏の料」ほか42点
京都府	2009. 9.28 ~ 10.15	全国伝統的工芸品センター	喜多川俵二「有職二階織物小袷 夏の料」ほか6点
京都府	2009.10. 2 ~ 12.28	京都府庁	「京の四季」から6点
京都府	2009.10.13 ~ 11.16	南丹市立文化博物館	北村武資「源氏物語追想 帝と姫君」ほか35点
京都府	2009.12. 4 ~ 2010.2.26	京都府庁	「京の四季」から6点
京都府	2010. 3. 5 ~ 5.31	京都府庁	「京の四季」から6点

3-3 映画

(1) 常設上映

2009（平成21）年度3階映像ホール上映作品一覧

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日数	回数	鑑賞者
2009. 4. 2～ 4.26	硬派、社会派推理映画の醍醐味	ペン倫らず暴力の街 / 黒い潮 / ゼロの焦点 / 黒の試走車 / 誇り高き挑戦 / 白と黒 / 帝銀事件 死刑囚 / 白い巨塔	16	32	2,015
2009. 4.30～ 5.31	コメディアンに至芸 喜劇映画特集	工ノケンのおちゃっきり金太 / 警察日記 / 二等兵物語 / 夫婦善哉 / お父さんはお人好し / 幕末太陽傳 / 喜劇 駅前旅館 / にっぽんのお婆あちゃん / エロ事師たちより 人類学入門 / 男はつらいよ	20	40	2,414
2009. 6. 4～ 6.28	俠気と純情が彩る旅路- 股旅映画特集	臉の母 / 続清水港 / 次男坊鴉 / 風と女と旅鴉 / 濡れ髪三度笠 / 座頭市物語 / 新座頭市 破れ! 唐人剣 / 緋牡丹博徒 お竜参上	16	32	1,663
2009. 7. 2～ 7. 6	【京都学「前衛都市・モダニズムの京都」1895-1930 協賛企画】 映画都市・京都のアヴァンギャルド映画上映	狂った一頁 / 疏水 流れにそって / 十字路	4	8	369
2009. 7.10	パリ祭記念フランス新鋭監督映画上映会	私は死んでいない / ローマ王のための夜想曲	1	2	137
2009. 7. 9～ 7.26	【「錦之助映画祭り in 京都」協賛企画】 映画俳優・中村錦之助特集	源氏九郎颯爽記 秘剣揚羽の蝶 / 冷飯とおさんとちゃん / 祇園祭 / 新諸国物語 笛吹童子 / 仇討 / 武士道残酷物語	11	22	1,300
2009. 7.30～ 8.23	もがく若者たち 一戦後の青春群像を描く	素晴らしき日曜日 / お嬢さん乾杯 / ああ青春 / 太陽の季節 / 狂った果実 / 日本の夜と霧 / 豚と軍艦 / キューポラのある街	16	32	1,557
2009. 8.27～ 8.30	甦る映画資産 一復元映画フィルム特集上映	玩具映画に見る剣豪特集 / 戦前アニメーション特集 黒手組助六、海浜の女王 / 祇園小唄 絵日傘 舞ひの袖	4	8	441
2009. 9. 3～ 9.20	生誕 100 年記念一山中貞雄監督特集	右門一番手柄 南蛮幽霊 / 丹下左膳余話 百万両の壺 / 河内山宗俊 / 人情紙風船 / 戦国群盗伝 / その前夜	12	24	1,070
2009. 9.25～ 10. 4	【HISTRICA 協賛企画】 武蔵・柳生映画の原型を探る	宮本武蔵 総集編 / 宮本武蔵 一乗寺決闘 / 柳生二蓋笠 / 宮本武蔵 二刀流開眼	7	14	634
2009.10. 8～ 10.18	【第 8 回新京極映画祭協賛企画】 光と影一日陰に咲く花	折鶴お千 / 名もなく貧しく美しく / 雁 / 湖の琴	8	16	969
2009.10.22～ 11. 1	【「きものの似合うまち京都」推進事業協賛企画】 谷崎文学映画にみるきもの美	細雪 / お遊さま / 春琴物語 / 鍵	8	16	1,144
2009.11. 5～ 11.29	ソード・アクション+魂 = チャンバラ映画	荒獅子 / 春秋一刀流 / 剣光桜吹雪 / 血槍富士 / 下郎の首 / 薄桜記 / 椿三十郎 / 上意討ち 拝領妻始末	16	32	1,623
2009.12. 3～ 12.27	“討入り”をめぐる人間模様一忠臣蔵と義士外伝特集	忠臣蔵 / 四十八人目の浪士 / 元禄快拳余譚 土屋主税 / 血煙高田の馬場 / 赤垣源蔵 / 元禄美少年記 / 修羅	14	28	1,110
2009.12.11/13	【世界無形文化遺産登録記念上映】 映画『祇園祭』と戦前の山鉾巡行の記録映像	戦前の山鉾巡行記録映像 / 祇園祭	2	4	106
2010. 1. 7～ 1.10	京都文化を記録するー“京シリーズ” ビデオ上映	京の春 / 京に生きる味 / 祇園祭 / 映画のふるさと	4	8	269
2010. 1.14～ 1.31	映画俳優・森繁久彌追悼特集	女優 / 警察日記 / 夫婦善哉 / 猫と庄造と二人のをんな / 雪国 / 駅前旅館	12	24	1,737
2010. 2. 4～ 3.28	永遠のモダンナ 一映画女優・原節子特集	河内山宗俊 / ハワイ・マレー沖海戦 / わが青春に悔なし / 安城家の舞踏会 / 晩春 / お嬢さん乾杯 / 青い山脈 / 続・青い山脈 / 上海陸戦隊 / めし / 麦秋 / 白痴 / 東京物語 / 山の音 / ノンちゃん雲に乗る	30	60	3,548
2010.3.5/7	映画保存と復元 甦る京都の風景と文化 (共催:立命館大学アトリサーチセンター)	疏水 流れに沿って / マキノ省三葬儀の実況 / ロケーションの想い出 / エトナスタジオ / 素人演藝名流大会 / カメラマンの想い出 昭和 10～20 年頃 / 白い鼠 / 祇園祭山鉾巡行記録映像 (1930 年・1937 年) / 第 5 回撮影会作品 / 愛宕スキー場 / 森田長太郎氏出征 / 日活太秦撮影所運動会	2	4	170

(2) 特別企画・共催事業

① 2009年度共催上映等の実績

◇【京都学「前衛都市・モダニズムの京都1895-1930」協賛企画】映画都市・京都のアヴァンギャルド映画上映

協 賛：京都国立近代美術館
会 場：当館映像ホール
内 容：『狂った一頁』『疏水 流れにそって』『十字路』の上映と資料展示。
鑑賞者数：369人（1日平均92人）
期 間：7月2日～6日

◇パリ祭記念フランス新鋭監督映画上映会

共 催：関西日仏学館、ヴィラ九条山
会 場：当館映像ホール
内 容：ジャン＝シャルル・フィトゥッシ監督作品『私は死んでいない』、『ローマ王のための夜想曲』の上映。
鑑賞者数：137人（1日平均137人）
期 間：7月10日

◇【「錦之助映画祭り in 京都」協賛企画】映画俳優・中村錦之助特集

協 賛：錦之助映画祭り in 京都（京都シネマ、錦友会）
会 場：当館映像ホール
内 容：『冷飯とおさんとちゃん』『新諸国物語 笛吹童子』等6作品の上映と資料展示。
鑑賞者数：1,300人（1日平均118人）
期 間：7月9日～26日

◇甦る映画資産—復元映画フィルム特集上映

協 力：大阪芸術大学、プラネット映画資料図書館、映画保存協会、IMAGICA ウェスト
会 場：当館映像ホール
内 容：戦前アニメーション作品、『黒手組助六』『海浜の女王』の上映と資料展示。
鑑賞者数：441人（1日平均110人）
期 間：8月27日～30日

◇生誕100年記念—山中貞雄監督特集 記念シンポジウム「山中貞雄の100年」

共 催：山中貞雄を偲ぶ会
協 力：大阪芸術大学、IMAGICA ウェスト
会 場：当館映像ホール
内 容：山中貞雄の姪御・原田道子さん、評論家・田中真澄さんを招いてのシンポジウムと断片フィルム『磯の源太 抱寝の長脇差』

『鼠小僧治郎吉』『怪盗白頭巾』『海鳴り街道』、山中筆パラパラ漫画の上映と資料展示。

鑑賞者数：93人（1日平均93人）
期 間：9月3日～20日

◇KYOTO CMEX「HISTORICA」前夜祭

共 催：KYOTO CMEX 実行委員会
会 場：当館別館ホール
内 容：『シロース・ヘッド』（2008年・グアム）『ブラッド・オブ・ザ・サムライ2』（2007年・ハワイ）『メタル侍』（2007年東映・CME）の上映と監督、出演俳優のお話。
鑑賞者数：200人（1日平均200人）
期 間：9月22日

◇【KYOTO CMEX「HISTRICA」協賛企画】武蔵・柳生映画の原型を探る

協 賛：KYOTO CMEX「HISTORICA」
会 場：当館映像ホール
内 容：『宮本武蔵 総集編』『宮本武蔵 一乗寺決闘』『柳生二葎笠』『宮本武蔵 二刀流開眼』の上映と資料展示。
鑑賞者数：634人（1日平均91人）
期 間：9月25日～10月4日

◇【第8回新京極映画祭連携企画】

光と影—日陰に咲く花
協 賛：新京極商店街振興組合（新京極映画祭）
会 場：当館映像ホール
内 容：『折鶴お千』『名もなく貧しく美しく』『雁』『湖の琴』の上映と資料展示。
鑑賞者数：969人（1日平均121人）
期 間：10月8日～18日

◇【「きものの似合うまち・京都」推進事業協賛企画】 谷崎文学映画にみるきもの美

協 力：京都府染織・工芸室、和装振興財団
会 場：当館映像ホール
内 容：『細雪』『お遊さま』『春琴物語』『鍵』の上映と資料展示。
鑑賞者数：1,144人（1日平均143人）
期 間：10月22日～11月1日

◇映画保存と復元 甦る京都の風景と文化

共 催：立命館大学アトリサーチセンター
会 場：当館映像ホール

内 容：『疏水 流れに沿って』『エトナスタジオ』
『日活太秦撮影所運動会』等12作品の上映
と講演会。

鑑賞者数：170人（1日平均85人）

期 間：3月5日、7日

②映画製作者・研究者・専門家向け事業

◇日本映像学会関西支部第31回夏期映画ゼミ ナール2009 日本映画に見られる「笑い」

共 催：京都府、日本映像学会関西支部

会 場：京都府立ゼミナールハウス

内 容：『落第はしたけれど』『国土無双』『夫婦善
哉』等9作品の上映とシンポジウム

参加者数：73人

期 間：8月3日～5日

◇映画の復元と保存に関するワークショップ

共 催：大阪芸術大学、IMAGICA ウェスト、プラ
ネット映画資料図書館、神戸映画資料館

会 場：当館（8月29日、30日）、
IMAGICA ウェスト（8月31日）

内 容：映画フィルム復元に関する講義と実習

参加者数：73人

期 間：8月29日～31日

◇京都映画若手才能育成ラボ KyotoFilmmakersLab

共 催：京都府、ドイツ文化センター、東映京都撮
影所、松竹京都撮影所

協 力：任天堂、浄土宗西山深草派総本山誓願寺

会 場：東映京都撮影所、松竹京都撮影所、当館映
像ホール

内 容：撮影所見学、殺陣講座、ベルリン国際映画
祭ディレクター・ディータ・コスリック氏
による講座、任天堂メディア・ソフト講座
等。合宿形式による京都の映画撮影所での
時代劇制作ワークショップ。

参加者数：19人

期 間：9月27日～10月1日

③子ども向け事業

◇ぶんぱく子ども映画ワークショップ 探検！映画の博物館

会 場：当館映像ホール、映像ギャラリー、資料室、
フィルム収蔵庫

内 容：博物館内の映画資料関連設備の見学と映像
原理体験。

参加者数：6人

期 間：10月31日

◇ぶんぱく子ども映画ワークショップ （京都府「お手つだい事業」1）

会 場：当館映像ホール、映像ギャラリー、資料室、
フィルム収蔵庫

内 容：博物館内の映画資料関連設備の見学と映像
原理体験。四条中学校。

参加者数：7人

期 間：11月5日

◇ぶんぱく子ども映画ワークショップ （京都府「お手つだい事業」2）

会 場：当館映像ホール、映像ギャラリー、資料室、
フィルム収蔵庫

内 容：博物館内の映画資料関連設備の見学と映像
原理体験。静原小学校。

参加者数：2人（新型インフルエンザのため）

期 間：11月21日

◇ぶんぱく子ども映画ワークショップ 春休みアニメーション制作ワークショップ

共 催：NPOキンダーフィルムフェストきょうと

会 場：当館別館2階講義室

内 容：切り絵やお菓子を使ってアニメーションを
制作するワークショップ。

参加者数：10人

期 間：3月26日～28日

④大学生向け事業

◇インターンシップの受け入れ

育成ラボ通訳補助：

京都大学（法学部・中国人留学生1名）、龍谷大学
（文学部・中国人留学生1名）、京都精華大学（映
像コース・ネパール人留学生1名、アラブ人留學
生1名）

2009年度（後期）：

立命館大学（文学部1名）

(3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、明治から昭和初期の映画カメラ・映写機、伊藤大輔文庫、大映京都撮影所関連資料を展示している。また所蔵の映画作品から73作品をダイジェストして収録し、検索システムとして公開している。詳細については、『京都文化博物

館10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。なお、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2009年度は下記のテーマで展示した。

2009（平成21）年度3階映像ギャラリー展示資料一覧

期 間	テ ー マ
2009. 4. 2～ 4.29	硬派、社会派推理映画の醍醐味
2009. 4.30～ 5.31	コメディアンに至芸 喜劇映画特集
2009. 6. 2～ 7. 1	侠気と純情が彩る旅路 股旅映画特集
2009. 7. 2～ 7.29	・【京都学「前衛都市・モダニズムの京都」1895—1930 協賛企画】映画都市・京都のヴァンギャルド映画 ・【「錦之助映画祭 in 京都」協賛企画】映画俳優・中村錦之助特集
2009. 7.30～ 8.30	・もがく若者たち—戦後の青春群像を描く ・甦る映画資産—復元映画フィルム特集上映
2009. 9. 1～ 9.23	生誕100年記念—山中貞雄監督特集
2009. 9.25～ 11. 1	・【HISTRICA 協賛企画】武蔵・柳生映画の原型を探る ・【第8回新京極映画祭協賛企画】光と影—日陰に咲く花 ・【「きものの似合うまち京都」推進事業協賛企画】谷崎文学映画にみるきもの美
2009.11. 3～ 12. 2	ソード・アクション+魂=チャンバラ映画
2009.12. 3～ 2010.1.10	・“討入り”をめぐる人間模様—忠臣蔵と義士外伝特集 ・【世界無形文化遺産登録記念上映映画】『祇園祭』と戦前の山鉦巡行の記録映像
2010. 1. 7～ 1.31	映画俳優・森繁久彌追悼特集
2010. 2. 2～ 3.31	永遠のマドンナ—映画女優・原節子（途中、展示替えあり）

(4) 京都府映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
中島 貞夫	映画監督	山田 善夫	京都興行協会常任理事
中村 努	シナリオライター	山内 一	京都府文化芸術室長
奈村 協	東映京都撮影所長	荒巻 禎一	内部委員
羽生 清	京都造形芸術大学教授	鈴木 真咲	内部委員
森田富士郎	映画撮影監督	青木 完一	内部委員

3-4 その他

①常設展の小中高校生の入場料の無料化

2008（平成20）年度の開館20周年を機に、次世代を担う子供たちに京都の歴史や文化・芸術に身近に親しんでいただくことを目的として、小中高生の常設展入場料の無料化を始めた。2009年度は6,061人の子供たちが入場した。入館者の地域としては京都市内か他府県の学校の生徒が多く、京都市以外の京都府内の利用者が少ない。また、来館目的の大半は修学旅行が課外授業であった。

②夜間開館の実施

来館者の利便性をより高めることを目的として、2008（平成20）年6月から特別展の開館時間の延長を開始した。毎週金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30分とした。夜間開館時の入館者からは、開館時間の延長に対しては賛成の声が聞かれるが、まだ利用者は少ないように思われる。また、特別展会期中の数回、金曜日の夜間開館にあわせて午後6時から30分程度でギャラリートークを開催している。

4. 調査研究活動

4-1 学芸員の活動

(1) 博物館研究費による研究

- 畑 智子 ・ 京都における近代輸出品について (2)
洲鎌佐智子 ・ 観方コレクションにみる扇子・団扇の類
型的調査について
市川 彰 ・ 「祭礼図」画像の調査研究～祇園祭礼図
屏風・絵巻を中心に～
横山和弘 ・ 東寺領巷所の成立と展開—中世京都の都
市構造と土地所有に関する研究—
林 智子 ・ 京都における縮緬生産の発達史の研究

(2) 外部研究費・共同研究等による研究

- 南 博史 ・ 「エルサルパドル考古学プロジェクト」
(新大陸文化研究会：伊藤伸幸名古屋大
学大学院文学研究科助教)
森脇清隆 ・ 文部科学省科学技術試験研究「デジタ
ル・ミュージアム実現のための研究開発
に向けた要素技術及びシステムに関する
調査検討」(代表：立命館大学情報理工
学部田中弘美教授) 研究協力者
・ 大阪芸術大学芸術研究所特別プロジェク
ト「玩具映画及び映画復元・調査・研究
プロジェクト」(代表：太田米男大阪芸
術大学教授) 研究協力者
長舟洋司 ・ 「白樺派の愛した美術」展覧会実施共同
研究会委員
林 智子 ・ 文部科学省 平成21年度「人文学およ
び社会科学における共同研究拠点の整備
の推進事業」委託費による文化女子大学
文化ファッション研究機構「服飾文化共
同研究」；プロジェクト研究「江戸時代
中期から後期の小袖に関する復元模作を
通じた研究」(代表者 福島雅子・東京
芸術大学助手) 研究分担者

(3) 出講・委嘱

- 畑 智子 ・ 京都府美術工芸新鋭展-京都工芸ビエン
ナーレ 審査員
・ 第9回福知山市佐藤太清賞公募美術展
審査員
・ 京都工芸美術作家協会展 審査員

- ・ 第21回創工会展 審査員
南 博史 ・ 文友会創立50周年記念事業準備委員
・ 「アイヌの美 カムイと創造する世界」
展企画委員
森脇清隆 ・ 京都国際学生映画祭企画検討委員
・ 芸術科学会関西支部幹事
洲鎌佐智子 ・ 京都国立博物館有形文化財評価員
・ 滋賀県立陶芸の森評価員
・ 日本工芸会近畿支部第三部門第一次鑑査
員
林 智子 ・ 文化女子大学文化ファッション研究機構
研究員

(4) 学芸員の業績

a. 論文・著作

- 畑 智子 ・ 「並河靖之について」/「海を渡った日本
の七宝」(INAXブックレット『七宝一色
と細密の世界』所収、INAX出版、2009
年6月)
・ 「IKEBANAの書—コンドルとボウズ」
(『特別展 いけばな—歴史を彩る日本の
美』所収、京都文化博物館他編、同館他
発行、2009年10月)
・ 作品解説分担『特別展いけばな—歴史を
彩る日本の美』所収、同上)
・ 「研究ノート・並河靖之の略年譜」(京都
文化博物館研究紀要『朱雀』第22集所
収、2010年3月)
鈴木忠司 ・ 「打製石斧の使用実験—機能・用途復元
に向けての予察—」(京都文化博物館研
究紀要『朱雀』第22集所収、2010年3
月)、共著。
・ テーマ別解説、用語解説(海老名和孝
「gen掛川源一郎が見た戦後北海道」写真
展〔京都文化博物館研究紀要『朱雀』第
22集〕所収、2010年3月)
鈴木忠司・竹内直文・礫群調理実験グループ
・ 「石蒸し調理実験記録10)—安山岩礫に
よる石蒸し調理実験とストーン・ポイリ
ングをめぐる2)—」(京都文化博物館
研究紀要『朱雀』第22集所収、2010年
3月)
植山 茂 ・ 「いけばな資料を見る-4 桜一色を立て

る」(『華道』第71巻第4号所収、日本華道社、2009年4月)

- ・「いけばな資料を見る-5 池坊専好の書状」(『華道』第71巻第5号所収、日本華道社、2009年5月)
- ・「いけばな資料を見る-6 立花の準備から観賞まで」(『華道』第71巻第6号所収、日本華道社、2009年6月)
- ・「いけばな資料を見る-7 七夕の七種の草花」(『華道』第71巻第7号所収、日本華道社、2009年7月)
- ・「いけばな資料を見る-8 仙洞御所の七夕立花会」(『華道』第71巻第8号所収、日本華道社、2009年8月)
- ・「いけばな資料を見る-9 巨大な立花」(『華道』第71巻第9号所収、日本華道社、2009年9月)
- ・「いけばな ふたつの源流」(『特別展 いけばな一歴史を彩る日本の美』所収、京都文化博物館他編、同館他発行、2009年10月)
- ・編集・作品解説等分担(『特別展 いけばな一歴史を彩る日本の美』所収、同上)
- ・「いけばな資料を見る-10 秋の花車」(『華道』第71巻第10号所収、日本華道社、2009年10月)
- ・「特別展 いけばな」1~5(『読売新聞』近畿各版連載、2009年10月)
- ・「いけばな資料を見る-11 浄土の花輪」(『華道』第71巻第11号所収、日本華道社、2009年11月)
- ・「いけばな資料を見る-12 池坊一代之出来物」(『華道』第71巻第12号所収、日本華道社、2009年12月)

森脇清隆

- ・作品解説『宮本武蔵 双剣にかける夢』、同『十兵衛ちゃん ラブリー眼帯の秘密』(歴史劇映像祭「HISTRICA」カタログ、HISTRICA実行委員会、2009年9月)
- ・コラム「鳴滝組と梶原金八」、同「山中貞雄パラパラ漫画について」、作品解説『戦国群盗伝』、同『その前夜』(生誕百年記念「山中貞雄監督特集」カタログ、コミュニティシネマセンター発行、2009年12月19日)
- ・「藤城清治 光と影の世界」(京都新聞、2009年7月29日朝刊)

長舟洋司

- ・「『白樺』と京都 一黒田重太郎、須田国太郎、国画創作協会をめぐって」(『白樺』誕生100年 白樺派の愛した美術)

展覧会図録所収、読売新聞大阪本社発行、2009年6月)

- ・「理想と友情を求めて」(『白樺』誕生100年 白樺派の愛した美術』展覧会図録所収、同上)
- ・「白樺美術館構想」(『白樺』誕生100年 白樺派の愛した美術』展覧会図録所収、同上)
- ・「『白樺』同人の本」(『白樺』誕生100年 白樺派の愛した美術』展覧会図録所収、同上)
- ・作家解説分担(『白樺』誕生100年 白樺派の愛した美術』展覧会図録所収、同上)

洲鎌佐智子

- ・「いけばなと江戸時代の女性たち」(『特別展 いけばな一歴史を彩る日本の美』所収、京都文化博物館他編、同館他発行、2009年10月)
- ・作品解説分担(『特別展 いけばな一歴史を彩る日本の美』所収、同上)
- ・「観方コレクションの団扇について」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第22集所収、2010年3月)

市川 彰

- ・「『拾遺都名所図絵』に記された名宝」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第22集所収、2010年3月)

横山和弘

- ・「南北朝期の『花勝負』～秘かに集まり夢中になる人々～」(『特別展 いけばな一歴史を彩る日本の美』所収、京都文化博物館他編、同館他発行、2009年10月)
- ・作品解説分担(『特別展 いけばな一歴史を彩る日本の美』所収、同上)
- ・「『明月記』のなかの京都」(『冷泉家 王朝の和歌守展』所収、財団法人冷泉家時雨亭文庫他編、朝日新聞出版発行、2009年10月)

林 智子

- ・「小袖模様にみるいけばな」(『特別展 いけばな一歴史を彩る日本の美』所収、京都文化博物館他編、同館他発行、2009年10月)
- ・作品解説分担(『特別展 いけばな一歴史を彩る日本の美』所収、同上)

b. 発表・講演

畑 智子

- ・「三条界わい市街地整備地区について」(意匠学会第51回大会記念シンポジウム「都市とデザイナー-国際性と地域性」パネリスト、大阪大学、2009年7月12日)
- ・「イタリア美術とナポレオン」展ギャラ

- リートーク (2009年5月15日)
- ・「いけばなー歴史を彩る日本の美」展
ギャラリーートーク (2009年10月23日)
- 鈴木忠司
- ・「岩宿 (旧石器) 時代の暮らしと石蒸し調理 (礫群)」(相模原市史跡田名向原旧石器学習館、2010年2月12日)
- 植山 茂
- ・「吉志部瓦窯跡と平安京の瓦」(吹田市立博物館平成21年度春季特別展学術講演会、吹田市立博物館、2009年5月10日)
 - ・「弥生土器・土師器・須恵器」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2009年6月20日)
 - ・「大文字 五山の送り火」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2009年8月15日)
 - ・「特別展 いけばな」ギャラリーートーク (2009年10月9日、16日、30日、11月6日)
 - ・「天保のちょうちょう踊り」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2009年12月26日)
 - ・「匠の町・中世京都のモノづくり」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2010年3月20日)
- 南 博史
- ・「イタリア美術とナポレオン展」ギャラリーートーク (2009年4月10日)
 - ・Valdivia ≠ Jomon: Un punto de vista de los arqueólogos japoneses (2009年7月24日: 第53回 Congreso Internacional de Americanistas【於: Universidad Iberoamericana】)(メキシコINAHチアパス州センター 金子明・南博史共同)
 - ・「夏休み子ども企画『教えて考古学』」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2009年8月8日)
 - ・「地域文化を学び教える方法とは」(京都まちづくりセンター、2009年10月10日) ※地域密着型のまちなか博物館である京都文化博物館の取り組みを中心に課題と方法についてまとめた。
 - ・「三条通り今昔」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2009年11月14日)
 - ・「アイヌの美」展ギャラリーートーク (2009年12月4日、18日、1月8日)
 - ・「古代カルタゴとローマ」展ギャラリーートーク (2009年2月12日、3月26日)
 - ・「京都盆地の成り立ちと平安京」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2010年2月13日)
- 南 博史
- ・「小石原将夫 (京丹後市きもの交流会)」
 - ・「丹後の織物文化」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2009年5月2、5日)
- 南 博史
- ・早光照子 (芸艸堂)
 - ・『匠の世界』木版」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2009年9月5日)
- 森脇清隆
- ・京都検定講習会特別プログラム「映画祇園祭と京都の映画文化」(講師、京都商工会議所、2009年6月27日)
 - ・ラスキン・スクール「京都映画の歴史と資産」(講師、京都文化博物館、2009年7月4日)
 - ・特別展「藤城清治 光と影の世界」ギャラリーートーク (2009年8月14日、9月4日)
 - ・第4回映画フィルム復元ワークショップ『祇園小唄 絵日傘 舞の袖』解説 (講師、京都文化博物館、2009年8月30日)
 - ・座談会「山中貞雄の100年」(講師、京都文化博物館、2009年9月12日)
 - ・HSTORICA映像祭『宮本武蔵 双剣にかける夢』押井守監督、西久保瑞穂監督インタビュー (講師、祇園甲部歌舞練場弥栄会館、2009年9月27日)
 - ・「フィルムアーカイヴの現状と問題…京都を中心に」(講演、立命館大学産業社会学部、2009年11月17日)
 - ・ふんぱく子ども教室「京都が日本のハリウッド? 探検! 映画の博物館」(講師、京都文化博物館、2009年10月31日、11月5日、11月21日)
 - ・「映画保存と復元 甦る京都の風景と文化」(講師、京都文化博物館、2010年3月7日)
 - ・京都映画市「Kyoto Filmmakers Labについて」(講師、松竹京都撮影所、2010年3月13日)
- 長舟洋司
- ・『白樺』誕生 白樺派の愛した美術」展
ギャラリーートーク (2009年6月12日、

19日、7月10日)

洲鎌佐智子・「工芸を楽しむために～京都編～」(講演、京都スカイセンター、2010年2月23日)

横山和弘・「羅城門と平安京～首都京都の誕生～」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2009年4月25日)

・「発掘された埋納銭～600年の時を越えて～」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2009年7月4日)

・「中世仁和寺の歴史と文化」(立命館京都文化講座、立命館大学東京キャンパス、2009年9月19日)

・「『池亭記』にみる平安京の変容」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2009年10月10日)

・「受け継いで行く祇園祭」(京都市内博物館施設連絡協議会「博物館連続講座」、京都文化博物館、2009年12月8日)

・「白河と鳥羽～900年前の都の風景～」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2010年1月23日)

5. 普及活動

5-1 出版物

(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』

◇『朱雀』第22集

発行：京都文化博物館

発行日：2010年3月31日

印刷：(株)吉川印刷工業所

体裁：B5判、140ページ

編集担当：鈴木忠司・畑 智子

掲載記事：

【研究ノート】

鈴木忠司・竹内直文・磯群調理実験グループ

石蒸し調理実験記録 10) 一安山岩礫による石蒸し調理実験とストーン・ボイリングをめぐる(2) 一

久保浩一郎・鈴木忠司

打製石斧の使用実験—機能・用途復元に向けての予察—

市川 彰 『拾遺都名所図会』に記された名宝

畑 智子 並河靖之の略年譜

【資料紹介】

洲鎌佐智子 吉川観方コレクションの団扇について 上

【調査報告】

林 智子 丹後織物産地における縮緬の生産について

【事業報告】

海老名和孝 「gen掛川源一郎が見た戦後北海道」写真展

(2) 京都文化博物館年報

◇2008(平成20)年度

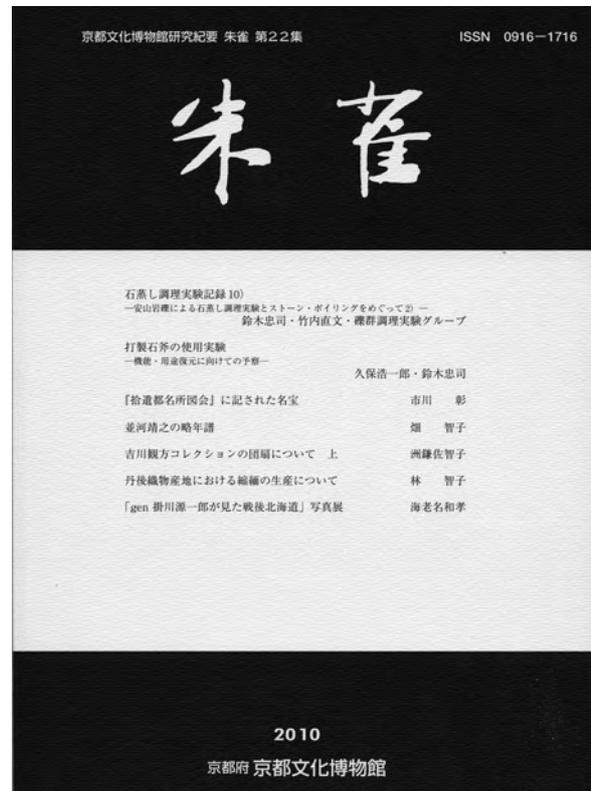
編集・発行：京都文化博物館

発行日：2009年9月30日

印刷：(株)吉川印刷工業所

体裁：A4判、56ページ

編集担当：鈴木忠司



『朱雀』第22集 表紙

(3) 展覧会図録

◇『特別展 いけばな—歴史を彩る日本の美』

編集・発行：京都文化博物館、江戸東京博物館、読売新聞社

発行日：2009年10月3日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷株式会社

体裁：タテ29.7cm×ヨコ22.6cm、208ページ

◇『京都府美術工芸新鋭展～2010京都工芸ビエンナーレ～』

編集・発行：京都府、京都文化博物館

発行日：2010年1月19日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷株式会社

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21.0、24ページ

※各書の奥付に発行日のないものは、その展覧会の開始月を挙げた。

5-2 講演会・音楽会

(1) 講演会など

開催年月日	講師	所属等	演題・テーマ	備考
2009.4.10	南 博史	当館学芸員		「イタリア美術とナポレオン」展ギャラリートーク
4.11	藪田 唯 阿部 星香	ピアニスト ハンドベル奏者	音楽で楽しむ絵画の世界	「イタリア美術とナポレオン」展記念演奏会
4.25	横山 和弘	当館学芸員	羅城門と平安京～首都京都の誕生～	歴史常設展展示解説
4.25	宮下規久朗	神戸大学大学院 准教授	イタリア美術の魅力と歴史—出品作品を中心に	「イタリア美術とナポレオン」展記念講演会
5.2/5	小石原将夫 南 博史	京丹後市きもの交流会 当館学芸員	丹後の織物文化	歴史常設展展示解説
5.15	畑 智子	当館学芸課長		「イタリア美術とナポレオン」展ギャラリートーク
6.12	長舟 洋司	当館学芸員		「白樺派の愛した美術」展ギャラリートーク
6.19	長舟 洋司	当館学芸員		「白樺派の愛した美術」展ギャラリートーク
6.20	植山 茂	当館学芸員	弥生土器・土師器・須恵器	歴史常設展展示解説
7. 4	紅野 敏郎	早稲田大学名誉教授・ 日本近代文学館常任理事	1910年代の文学『白樺』の人々をめぐって	「白樺派の愛した美術」展講演会
7. 4	横山 和弘	当館学芸員	発掘された埋納銭～600年の時を越えて～	歴史常設展展示解説
7.10	長舟 洋司	当館学芸員		「白樺派の愛した美術」展ギャラリートーク
8.14	森脇 清隆	当館学芸員		「藤城清治 光と影の世界展」ギャラリートーク
8.15	植山 茂	当館学芸員	大文字～五山の送り火～	歴史常設展展示解説
9. 4	森脇 清隆	当館学芸員		「藤城清治 光と影の世界展」ギャラリートーク
9. 5	早光 照子 南 博史	芸艸堂 当館学芸員	「匠の世界」木版	歴史常設展展示解説
10. 9	植山 茂	当館学芸員		「いけばな」展ギャラリートーク
10.10	横山 和弘	当館学芸員	『池亭記』にみる平安京の変容	歴史常設展展示解説
10.10	畠中 光享	日本画家	「現代日本画」展の思い出	美術工芸展示室「日本画」展講演会
10.14	上村 淳之	日本画家		美術工芸展示室「日本画」展ギャラリートーク
10.16	植山 茂	当館学芸員		「いけばな」展ギャラリートーク
10.17	村井 康彦	国際日本文化研究センター名誉教授・ 京都市美術館館長	いけばなと日本文化	「いけばな」展講演会
10.23	畑 智子	当館学芸課長		「いけばな」展ギャラリートーク
10.28	竹内 浩一	日本画家		美術工芸展示室「日本画」展ギャラリートーク
10.30	植山 茂	当館学芸員		「いけばな」展ギャラリートーク
11. 6	植山 茂	当館学芸員		「いけばな」展ギャラリートーク
11.14	南 博史	当館学芸員	三条通り今昔	歴史常設展展示解説
12. 4	南 博史	当館学芸員		「アイヌの美」展ギャラリートーク
12.18	南 博史	当館学芸員		「アイヌの美」展ギャラリートーク
12.19	吉田孝次郎	財団法人祇園祭山鉦連合会副理事長	山鉦風流と渡来染織品について	美術工芸展示室「受け継いでいく祇園祭」展記念講演会
12.26	植山 茂	当館学芸員	天保のちょうちょう踊り	歴史常設展展示解説
2010.1. 8	南 博史	当館学芸員		「アイヌの美」展ギャラリートーク
1.23	佐々木もと子	池大雅美術館館長	池大雅の書画について	美術工芸展示室「池大雅と日本画の名品」展ギャラリートーク
1.23	横山 和弘	当館学芸員	白河と鳥羽 ～900年前の都の風景～	歴史常設展展示解説
2.12	南 博史	当館学芸員		「古代カルタゴとローマ展」ギャラリートーク
2.13	ケミリー園子	IAA 国際アロマニスト協会会長	古代カルタゴからチュニジアへ、アロマテラピーのルーツを探る	「古代カルタゴとローマ展」講演会
2.13	南 博史	当館学芸員	京都盆地の成り立ちと平安京	歴史常設展展示解説
2.27	佐藤 育子	日本女子大学学術研究員	カルタゴと地中海世界—ある通商国家の興亡	「古代カルタゴとローマ展」講演会
3.20	植山 茂	当館学芸員	匠の町・中世京都のモノづくり	歴史常設展展示解説
3.26	南 博史	当館学芸員		「古代カルタゴとローマ展」ギャラリートーク

(2) 音楽会

a. 京都文化博物館音楽会シリーズ「歴史と共に〈音楽〉を楽しむ」

主催：京都文化博物館

協力：アマデウス音楽事務所

後援：京都文化博物館友の会

企画・解説：岩淵龍太郎（京都文化財団理事・京都市立芸術大学名誉教授）

協賛：吉忠株式会社

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XVIII 19世紀の巨星 ブラームス

第4夜 豊饒なるリートの創造		2009年4月12日	165名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	三井ツヤ子（メゾソプラノ）／浦田恵子（ソプラノ）／溝淵悠理（メゾソプラノ）／河合珠江（ピアノ）		
曲目	ブラームス：ドイツ民謡集より「谷の底では」「お姉ちゃん」他 ブラームス：「ジプシーの歌」（全曲） ブラームス：「私は夢を見た」「五月の夜」「湖上にて」他		
第5夜 伝統の継承とその影響		2009年6月24日	100名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	藤満 健（ピアノ）		
曲目	ブラームス：交響曲 第4番 ホ短調 Op.98 ブラームス：大学祝曲序曲 Op.80		
第6夜 ピアニスト・ブラームスの展開		2009年8月6日	95名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	奈良希愛（ピアノ）／田辺良子・藤木愛（ヴァイオリン）／三木香奈（ヴィオラ）／斎藤建寛（チェロ）		
曲目	ブラームス：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番 Op.78 ブラームス：ピアノ五重奏曲 ヘ短調 Op.34		

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XIX 20世紀の歩みと地域の拡大 バルトーク

第1夜 ピアノ・トリオの拡大		2009年10月6日	88名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	渡邊 穰（ヴァイオリン）／筒井祥夫（クラリネット）／居福健太郎（ピアノ）		
曲目	バルトーク：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ バルトーク：ヴァイオリン・クラリネット・ピアノによる三重奏曲「コントラスト」		
第2夜 土着音楽の魅力		2009年12月17日	83名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	田淵千代子（ピアノ）		
曲目	バルトーク：狂詩曲 Op.1 バルトーク：スケルツォ バルトーク：ソナチネ バルトーク：組曲 Op.14		
第3夜 音の宇宙		2010年2月23日	81名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	河合珠江（ピアノ）		
曲目	バルトーク：ピアノソナタ バルトーク：「ミクロコスモス」より バルトーク：「ルーマニア民族舞曲」より バルトーク：「ハンガリー農民の歌」より		

b. 祇園祭協賛事業

：宵山ミュージアムコンサート

①第20回宵山に箏曲を聴く夕べ

日 時：2009年7月16日
主 催：京都文化博物館
後 援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろ
うじ店舗博和会
会 場：京都文化博物館 別館ホール
演奏者：生田流宮城社麗調会社中（箏曲演奏）
第一部 16:30～18:00
第二部 19:00～20:30
入場者：500人

②ミュージアムコンサート—音楽の玉手箱—

日 時：2009年7月18日、19日
主 催：京都文化博物館・京の三条まちづくり協議
会
後 援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろ
うじ店舗博和会
会 場：京都文化博物館 別館ホール
演奏者：
7月18日 アールグレイ（Jポップ）
花とおじさん（オールディーズ）
Drakskip（北欧伝統音楽）
One Voice Kawanishi（ゴスペル）
Banda Bona
（ブラジリアン・ポップス）
サントロペーの仲間たち（シャンソン）
くろじん↑（アコースティック）
LASSIE（オールドタイム）
ロス・アモーレス
（ラテンアメリカ音楽）
井上章一教授（ジャズ）
7月19日 タンゴ・カテドラル～Duo
（アルゼンチン・タンゴ）
アストロリコ・レディーズ タンゴ・
アルコイリス（アルゼンチン・タンゴ）
ニューサウンズ・コンボ
（ジャズコンボ）
ハワイアン フラ アイズ
（ハワイアン・フラ）
Cats and Doll（ジャズコンボ）
Purities（モダンフォーク）
THE JUKE BOX（オールディーズ）
ニューシャープハードオーケストラ
（ジャズ・ポップス）
入場者：4,450人

* 祇園祭協賛事業として開催し、午後9時30分まで
別館の開館時間を延長した。

c. オータムミュージアムコンサート

日 時：2009年11月14日、15日
会 場：京都文化博物館 別館ホール
演奏者：
11月14日 Cotys（室内楽）
テオフィール室内合奏団（室内楽）
Drakskip（北欧伝統音楽）
アンサンブルセリオーン（弦楽）
ソフィア&ペパーミンツ
（ヴォーカルユニット）
澤田よしひろ（フォーク）
満月堂（フォーク）
11月15日 タンゴ・アルコイリス
（アルゼンチン・タンゴ）
野村麻樹&北村瑞絵（室内楽）
Grand Chariot
（クラシック・ポップス）
くろじん↑（アコースティック）
ピープルパイパー
（フルート・アンサンブル）
オルケスタ山崎
（ビッグバンド・ラテン）
入場者：2,830人

d. ぶんぱくライブ・イン・ピース

日 時：2009年12月20日
主 催：京都文化博物館・京の三条まちづくり協議
会
後 援：京都新聞社・KBS京都・α-Stationエフエ
ム京都
協 力：土山印刷株式会社
協 賛：吉忠株式会社
会 場：京都文化博物館 別館ホール
演奏者：アールグレイ（Jポップ）
Jay Pickers（フォーク）
ロス・アモーレス（ラテンアメリカ音楽）
花とおじさん（オールディーズ）
Cats and Doll（ジャズコンボ）
ドルチェ・ジャズ・オーケストラ
（ピクバンド・ジャズ）
入場者：1,500人

5-3 博物館実習

実施期間：2009年8月4日～8月7日

実習生：京都府立大学4名、立命館大学3名、京都造形芸術大学2名、京都外国語大学2名、京都精華大学3名、京都文教大学1名、鳥取大学1名、北九州大学1人

計17人

実習内容・担当者：

- ・ 博物館の概要・館内見学
一 鈴木 忠司・畑 智子
- ・ 美術資料について 一 市川 彰
- ・ 工芸品について 一 洲鎌佐智子
- ・ 染織品について 一 林 智子
- ・ 文献資料について 一 横山 和弘
- ・ 考古資料について 一 植山 茂
- ・ 学習普及活動参加 一 南 博史
- ・ 映像資料について 一 森脇 清隆
- ・ 展示環境について 一 長舟 洋司
- ・ まとめと反省 一 全担当学芸員

5-4 その他の活動

(1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約73,160冊、逐次刊行物約3,220タイトル（73,880冊）を収蔵している。中でも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約31,140冊、展覧会図録が約12,030冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は、3,390件であった。

(2) 文化情報コーナー

1階の文化情報コーナーでは、京都府内を中心とする美術館・博物館などの文化施設から送られてくるチラシやリーフレットなどを置いて、来館者が自由に持ち帰ることができるようにするとともに、近畿の歴史文化についてのDVDによる動画情報の「歴史街道ーロマンへの扉」を設置して、来館者に情報を提供している。また、NTTの無線LANスポットの設置場所にもなっている。

(4) 生涯学習ボランティア

当館の生涯学習ボランティアは、京都府長寿社会政策室が生涯学習の振興を図るため、京都府の文化施設にボランティアを導入するよう呼びかけ、これに応じて1994（平成6）年4月15日に英語ボランティア・グループ「MOKの会」を結成した。

以後、外国人の入館者を対象に、2階常設展示室（歴史展示室）において英語によるガイドとしてサービスを行っている。また、「MOKの会」の行事として総会・例会・研修会などを通じ、会員の研鑽に努め独自の活動を実施している。

今年度も引き続きリニューアル後の活動と会の運営体制について、学習普及ワーキングチームと連携しながら検討を重ねている。

a. 2009年度の役員（会員数28名）

会長：森原勝司
副会長：眞方千晶（会計）
副会長：津田恵都子（庶務）

(3) ホームページによる広報とコンテンツの提供

当館に於けるwebサイトの運用は、2005年6月に現在のデザインを導入して以来、随時、改良とページの追加などを行い、そのアクセス数を増加してきた。2009年度はコンテンツの充実に加え、アクセシビリティの改善などサイトとしてのボトムアップを図り、サイトを公開して以来最高のアクセス数となった。また、今年度は文化財保護基金・出版物の販売ページなどを増設した。今後館のリニューアルに向けて更なる改善に尽くしていく予定である。

ホームページの利用状況

2009年度	総数	一日平均
アクセス数	568,540	1,558
ページビュー	1,476,499	4,045

内訳上位	
1. トップページ	413,450 (28%)
2. 特別展	209,883 (14%)
3. 地図交通機関	90,910 (6%)
4. 特別展スケジュール	69,249 (5%)
5. 施設利用案内	62,803 (4%)

b. 2009年度の活動

2009年

- 4月11日 2009年度総会
- 6月8日 第1回京都府ボランティア連絡会
- 6月9日 兵庫県国際交流協会団体案内
- 6月13日 6月例会
- 7月11日 臨時総会
・今後の会員募集と研修体制について。
- 9月12日 9月例会
・博物館からリニューアルの現状と今後についての報告。
- 9月19・20日 SKYふれあいフェスティバル2009参加。展示及および問題提出。
- 9月27日 AFS団体案内
- 10月5日 第2回京都府ボランティア連絡会
- 11月7日 見学研修会（大阪歴史博物館など）

2010年

- 1月6日 New Yorkの大学団体案内
- 1月9日 1月例会
 - ・博物館からリニューアルの現状と今後についての報告。
 - ・研修体制等についての検討。
 - ・植山学芸員による展示説明（宗家の地「香道」）。
- 2月19日 京都府生涯学習システム情報提出

3月13日 3月例会

- ・博物館からリニューアル状況と今後のスケジュールについての報告。
- ・植山学芸員による展示説明（宗教コーナー）。
- 2010年度役員選出
 - 会長：森原勝司
 - 副会長：内藤純子（会計）
 - 副会長：内藤陽子（庶務）

(5) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、常設展示、特別展等の解説に応じている。2009年度の来館件数は133件であった。このうち解説を行ったのは、61件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが主体で、全体の4割をしめるが、各種の文化

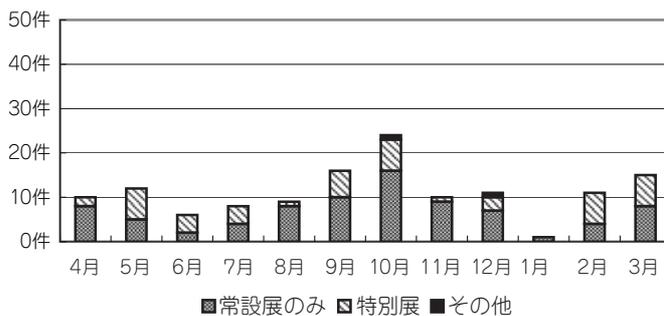
サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では中学校が一番多く、大学、高校、がつづく。

本年度は新型インフルエンザが流行したこともあり、普段申込みの多い5月、6月が前年に比べ半数以下と非常に少ない月であった。その代わり、他の月は1月を除きおおむね増加傾向であるなど、修学旅行などの申込みが分散した年度であった。

団体見学受け入れ数一覧

09年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	386	620	286	300	328	586	1525	209	322	26	343	431	5362
来館件数	10	12	6	8	9	16	24	10	11	1	11	15	133
解説件数	1	8	6	2	6	5	11	7	4	1	4	6	61

月別申込み件数



団体種類別件数

団体	件数
小学校	7
中学校	25
高校	12
専門学校	1
大学	20
支援学校	1
一般	67
合計	132

(6) 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

a. 会員の特典

- ・会員証で特別展・常設展（映画鑑賞含む）の無料での鑑賞
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京博、京近美、京市美の特別・常設展が団体料金に割引

b. 会費

- ・個人会員 年会費6,000円
- ・グループ会員（2名以上） 年会費5,000円

c. 会員の概要

会員動向については、本年度は過去最低の会員数となった。要因として、博物館事業と一体化しており、特別展や上映映画等に対する会員の興味度・関心度によるところ、会員の高齢化及びリニューアル工事に伴う全館休館も影響があったと思われる。全体的に市内居住の高齢者の占める割合が高く、会員層の固定化、

20～30代が全体の4%、学生は0.01%という状況を考えると、学生会員等新しい会員層の獲得にむけた活動や独自事業及び将来の方向性に沿った友の会のあり方等、今後の友の会運営を考えるにあたって重要な課題であるといえる。

d. 事業の概要

①文化講座

特別展「古代カルタゴとローマ展」関連事業
ハンニバルクラブ京都講演会
「ハンニバルとカルタゴの遺産」
日 時：2010年2月11日(木)
場 所：別館ホール
講 師：神戸大学名誉教授 村上 温夫氏
参加者：137名（うち、会員25名）

②見学会〈文化財保護基金と共催〉

文化財研修講座「京町家「杉本家住宅」の見学会」
特別講演「暮らしの知恵と文化」
日 時：2010年2月27日(土)
場 所：京都市指定有形文化財「杉本家住宅」
講 師：京都造形大学教授 中村利則氏
解説・案内：財団法人奈良屋記念杉本家保存会事務局長 杉本節子氏／財団法人奈良屋記念杉本家保存会学芸員 杉本歌子氏
参加者：50名（うち、会員16名）

2009年度会員の概要

1) 会員数（近年の推移）

(単位：名)

	2009年度	2008年度	2007年度
個人	482	521	542
グループ	171	192	213
計	653	713	755

2) 新規加入 (単位：名)

個人	100
グループ	40
計	150

3) 男女の構成

男性	58%
女性	42%

4) 職業 (単位：名)

会社員	99
公務員	14
教員	20
自営業	48
自由業	14
学生	4
その他	16
無職	437

5) 年齢分布 (単位：名)

10代	0
20代	8
30代	20
40代	42
50代	91
60代	217
70代	193
80代	77
90代以上	4
不明	1
最高齢	97歳
平均	65.78歳

6) 住所分布 (単位：名)

京都市内	458
京都府下	65
近畿圏内	121
その他の府県	9

6)-2 近畿圏内の内訳

大阪府	69
兵庫県	23
滋賀県	18
奈良県	9
和歌山県	2
計	121

(7) 学習普及活動

◇「ぶんぱく子ども教室」事業

京都文化博物館学習普及ワーキングチームが主体となって行っている。今年度は博物館内部プロジェクトチーム「次世代育成プロジェクト」による活動のオーソライズ、中長期的計画のもとに活動を行った。

昨年度実施した文化庁主催「芸術拠点形成事業～ミュージアムタウン構想～」に再度応募。「教えて考古学」と「家紋を学ぶ」が採択された。これらを含めて「ぶんぱく子ども教室」活動として実施した。なお、ぶんぱく子ども教室活動の目的は以下の3つである。

1. ぶんぱくをとおして京都の町を知ろう。
2. ぶんぱくをとおしていろいろな世界を知ろう。
3. ぶんぱくを知ろう。

今年度も地域の方々に参加いただく実行委員会を設立し、地域と一体となって年間を通して子どもに安全な地域づくり、京都文化に対する子どもの関心を高める活動を行った。

委員会名簿：西嶋直和（代表）、河野泰、長谷川忠夫、西村祐一、麻野博司
担 当：南博史、森木礼子、林智子、渡辺紀久子（以上、学習普及ワーキングチーム）

a. 一般募集活動

- ①「ゆかたの着付け体験と祇園祭の夕べ」(7月14日)
概要／岩戸山に上がらせていただくほか、保護者には保存会前理事長のミニ講座、子ども達はゆかたの着付けを体験した。
協力／岩戸山保存会前理事長、花着物学院講師、学生ボランティア
参加者／子ども15名＋保護者10名
- ②「家紋を学ぶ～家紋でカモン！」(8月1日)
概要／子ども対象の「家紋を描く」体験、一般対象の「家紋講座」、自由参加の「紋きり」・「家紋クイズ＋家紋ストラッププレゼント」。
協力／京都紋章工芸協同組合
参加者／子ども42名、大人83名
- ③「教えて考古学」(8月8日)
概要／土層断面の剥ぎ取り標本、別館地下収蔵庫の見学後、遺物の復元・スケッチを体験。
協力／学生ボランティア
参加者／子ども8名
- ④「博物館でアート～絵を描こう編～」(9月27日)
概要／180cm四方の箱状のキャンバスに、水彩絵具で自由にペインティング。
講師／ヴァルデレード・デ・オリベイラ氏（画家）
協力／学生ボランティア
参加者／子ども40名

- ⑤「探検！映画の博物館」(10月31日)
概要／映像ホール・ギャラリー、フィルム収蔵庫の見学。映写機・映画づくり体験。
参加者／子ども6名
- ⑥「博物館でアート～立体編～」(11月3日・15日)
概要／立体作品の制作(3日)と、「まちなかを歩くウィーク」に併せた作品展示作業体験(15日／別館前ウッドデッキ)。
講師／増野智紀氏（造形作家）
協力／学生ボランティア
参加者／子ども17名
- ⑦「館内ぐるぐる探検ツアー」(1月30日)
概要／館員の話聞きながら館内探検。その後、チームにわかれて館内をまわりながら、ビンゴ形式のクイズに挑戦。
協力／学生ボランティア
参加者／子ども27名
- ⑧「春休みアニメーション・ワークショップ」
(3月26日～28日)
概要／アニメーション作家の指導のもと、グループに分かれてアニメーション作品を製作。
共催／NPOキンダーフィルムフェスト・きょうと
参加者／10名

b. 連携事業

- ①京都市立京都御池中学校3年生の総合学習「京都文化を学ぶ」との連携
・「友禅染め京扇子づくり」
(7月1・8日、8月26日／参加者：生徒28名)
※当館別館にて展示(11月3日～15日、「村田堂創業120周年記念展示会(京都の教育と学生服のあゆみ)」(別館催事)から要望があり展示：11月20日、21日)
- ②京丹後市網野町ウィークエンド事業「ゆたっこ」との連携
・「館内ぐるぐる探検ツアー」(10月3日／参加者：子ども62名)
- ③京都市立高倉小学校「スマイル21プラン」との連携
・「日本の名画 大集合！」(10月31日／参加者：児童17名)
・「縄文土器とともに3000年の昔にタイムトリップ」(2月6日／参加者：児童28名)
- ④京都市立御所南小学校「御所南歴史文化コミュニティ」との連携
・「2階歴史展示体験」(11月28日／参加者：児童約20名)

⑤京の次世代文化お手伝い体験事業（京都府事業）への協力

- ・京都市立四条中学校より「探検！映画の博物館」（11月5日／参加者：生徒8名）
- ・「館内ぐるぐる探検ツアー」（11月5日／参加者：生徒19名）
- ・京都市立静原小学校より「探検！映画の博物館」（11月21日／参加者：児童3名）

⑥学校運営協議会への参加

- ・京都市立京都御池中学校「けやき」（南 博史）

・京都市立高倉小学校「スマイル21」

（南 博史、森木礼子）

c. 展覧会関連事業（ワークショップ）

- ①「アイヌの美」展関連行事 「ムックリ（楽器）を作ってみんなで鳴らしてみよう！」（1月9日／参加者29名）
- ②「古代カルタゴとローマ」展関連行事 「石やガラスで作ってみよう！手作りモザイク教室（3月13日／参加者36名）

(8) 地域との連携

①「まちなかを歩く日」への参加と協力

地域住民・団体を中心となっていてすすめている「歩いて暮らせるまちづくり推進会議」（2000年7月設立）が今年10年を迎えた。活動趣旨の啓発と普及を図るために11月に地域全体で開催する「まちなかを歩く日」は、これを記念して「まちなかを歩くウィーク2009」として、10月30日（金）～11月15日（日）に拡大。当館も例年通り以下の活動に参加した。京のまちなか9学区（城巽、龍池、本能、明倫、初音、柳池、日彰、生祥、立誠）では約17日間にさまざまな活動が行われた。

当館が主催・協力した活動（テーマ：三条高倉まちかどミュージアム）、および関連催事は以下のとおりである。

主催事業：

- a) 三条高倉まちかどミュージアム（11月1日～15日）との連携
 - ・復活！駒札巡り（期間中）：まちかどミュージアムによって設置された駒札を利用
- b) 三条子ども探検隊「三条通の一番を探そう」（7日：京の三条まちづくり協議会と共催）
 - ・子どもが三条通の一番を探して写真で展示。見学者の投票でどれが一番かを決める。
- c) おこしやす・ぶんぱくフリーマーケット（8日）
 - ・高倉通に沿って館員が中心となったフリーマーケットを展開した。
- d) 関西文化の日。両日とも常設展示入場無料。

協力事業：

- a) 別館前総合情報拠点設置（期間中）
- b) あるくら本部設置（11月7・8日、14・15日）
- c) VELLO TAXI 別館前待機スペースの提供（NPO法人環境共生都市推進協会）

関連催事：

- a) 「オータム・ミュージアム・コンサート」（14日・15日）

b) 京都アートフリーマーケット2009秋（10月30日～11月1日）

c) ぶんぱく子ども教室「博物館でアート」（15日）

- ・別館前ウッドデッキ上にて、増野智紀氏（造形作家）による制作活動と展示。テーマは「フラワーアレンジメント」。

d) 京都市立京都御池中学生制作「京友禅京扇子」の展示（11月3日～15日）

- ・別館入口ホワイエにて。ぶんぱく子ども教室活動で完成した「世界でたったひとつの京友禅京扇子」を展示した。

②京都市本能特別養護老人ホームでの出前講義

社会福祉法人京都福祉サービス協会高齢者福祉施設「本能」からの協力依頼を受け、「京都の風土や歴史を楽しむための企画」として計画された3回の講義へ出前講義を行った。

講演者：南 博史

実施日：第1回2009年8月7日／第2回11月13日／第3回2010年2月26日

参加者：施設入居およびサービス利用者約30名

テーマ：考古学を学ぶ

③三条高倉まちかどミュージアム

（11月1日～15日）

会場：京都文化博物館周辺、三条通り（寺町～堀川間）を中心とした8元学区（生祥・日彰・明倫・本能・柳池・初音・龍池・城巽）内の店舗、施設など

内容：◆まちなかのお店前に「お宝」や「道具」「思い出の品」などを展示

◆まちの思い出を写真パネルにしてまちなかに展示

◆まちの歴史や文化を「駒札」にしてまち

なかに展示

・これらを掲載したマップでまちなかを回遊し、まちの魅力を再発見してもらう活動。歩いて暮らせるまちづくり推進会議、京の三条まちづくり協議会、三条通りを考えよう会、明倫まちづくり委員会、本能まちづくり委員会など地域の方々の協力をえた。

参加者：のべ約15,000人

④「関西文化の日」事業への連携

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、11月14日(土)、15日(日)の両日協力した。常設展を無料開放し、2日間で5,367人(14日：2,343人、15日：3,024人)の方々にお越しいただいた。この2日間は常設展「日本画」展会期の最終週末と重なったため、例年より入場者が大幅に増加した。なお、昨年度に引き続き2009年度も開催したオータムミュージアムコンサート(11月14日、15日)を「関西文化の日」の当日イベントとして登録し、同コンサートには2日間で2,830人が参加した。事業全体では404施設が参加し、総入場者数はのべ354,000人(前年度比11.7%)であった。

⑤「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への協力

今年も昨年に引き続き、10月1日(木)から12月25日(金)まで、本事業への協力をを行った。期間中には、和服姿の来館者が増加し、本事業の定着と着実な効果が感じられる。

本事業は、京都府、京都市、京都商工会議所、(財)京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、京染卸商業組合、西陣織物産地問屋協同組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

当初は、着物での来館者に対する割引制度であったが、2003年度からは、「きものパスポート」持参のきもの着用者は特別展、常設展とも入場料無料、同伴者は20%割引と、サービス内容が充実した。しかしながら、平成2006年度からは、常設展入場料は引き続き無料であるが、特別展入場料については割引(2006年度は2割引、2008年度からは前売料金割引)となりサービス内容が若干変更されている。利用者は、特別展への入館者は144人、常設展への入館者は366人であった。

また、会期中(11月6日(金)～12月15日(火))には、本館エントランスを利用して伝統産業の実演を行い、多くの来館者が西陣織の機織や、京鹿の子絞り、京友禅、京刺繍の実演を見学した。映像ホールでは、「谷崎文学映画にみるきもの美」と題して本事業に協賛して映画の上映を行った。

さらに、本事業に関連して、「伝統産業の日2010」[京都市主催、3月13日(土)～3月22日(月・祝)]の事業にも併せて協力し、期間中は常設展入場料を無料とし(特別展は割引対象外)、利用者は142人であった。加えて2005年度から、「成人の日」もきもの着用の新成人は常設展入場料を無料とした。

⑥「ミュージアムぐるっとパス関西2009」への参加

関西の2府4県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)の合計64施設(2008年度は66施設)で利用可能な「ミュージアムぐるっとパス関西2009」事業に参加した。主催は前述の64施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2009」実行委員会である。1冊1,000円で販売するパスを購入すると、最初の利用日から3ヶ月間(2005年度までは2ヶ月間)、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館については、常設展が無料、特別展が前売券料金となる特典を設定した。2009年度の当館での利用者は、常設展491人、特別展517人であった。

⑦「第15回京都ミュージアムロード」事業への協力

京都市教育委員会及び京都市内博物館施設連絡協議会主催の「第15回ミュージアムロード」(1月30日(土)～3月22日(月・祝))事業に参加した。スタンプラリーの実施と粗品提供、そしてアンケートの実施に協力した。

⑧京都市内4館連携協力協議会の発足

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、京都文化博物館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑に行う目的で、京都市内4館連携協力協議会「京都ミュージアムズ・フォー」が6月12日に発足した。3月5日には4館の館長による4館連携協定書の調印も行った。

2010(平成22)年度は、連携講座を行う予定。また各館友の会の連携も行う。

6. ギャラリー事業

6-1 5・6階展示室

(1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名（染織・陶芸・木工芸各1名）、書2名（仮名・漢字各1名）、写真1名の計13名で、展示室の使用を

希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2009年度の委員会は以下のとおり開催した。

展示室運営委員会

委員会開催日	審議対象期間	件数
2009年7月2日	2009年12月～2010年3月	13
10月27日	2010年4月～2010年7月	21
2010年3月2日	2010年8月～2010年11月	14

(2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、又6階において1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月21日から月末の前日までと定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品

は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2009年度の利用件数は、48件であった。

作家利用一覧

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
2009.4.21～4.26	朴土・真魚・采合同展「展・22」	日本画	9.16～9.21	洛中写真組展 V	写真
4.21～4.26	立命館大学写真部 第10回記念OB展	写真	9.19～9.21	京の蔭 陰影礼賛 三人展 <6F>	染織
4.22～4.26	創立20周年記念 第17回光勲能面會展	諸工芸	9.25～9.27	2009 絵更紗美術協会会員作品展	染織
4.29～5.3	上海からの巡礼僧 墳上・劉展	現代美術	9.25～9.27	2009 絵更紗画林展 <6F>	染織
4.29～5.3	第33回日本画春季光玄展	日本画	10.21～10.25	第15回面法会 能面・狂言面展	諸工芸
4.29～5.3	第22回面風會展 能面・狂言面	諸工芸	10.21～10.25	第29回平安書道会聚英展	書
5.20～5.24	2009 Dayton / 京都交流版画展	洋画	10.22～10.25	第三回書の森展	書
5.20～5.24	第22回京都書作家協会会員展	書	10.23～10.25	志村ふくみ門下生による 第16回小椋会織物展	染織
5.27～5.31	第64回京都丹平写真展	写真	10.28～11.1	平成21年度 京の名工展	工芸総合
5.27～5.31	第19回蒼龍展	書	11.3～11.8	第12回京都現代写真作家展	写真
5.28～5.31	面匠會 第19回京都能面展	諸工芸	11.19～11.23	第21回記念 工芸美術 創工会展	工芸総合
5.28～5.31	京都創造藝術協會展	美術総合	12.16～12.20	梓屯 坂井孝能面展	諸工芸
6.16～6.21	清水光美 水彩・パステル画展	洋画	12.16～12.20	書 十二月の会	書
6.16～6.21	第2回 The NIHONGA -伝統と創造-	日本画	12.16～12.20	第19回帆の会展	洋画
6.16～6.21	『独楽の会』作品展	日本画	12.16～12.20	台湾現代陶芸家 蔡榮祐創作展 <6F>	陶芸
6.24～6.28	第13回種々展	日本画	2010.1.21～1.24	第32回京都現代書芸展	書
6.24～6.28	芽生展	日本画	2.12～2.14	2009年度 京都橋大学卒業制作展	書
6.26～6.28	喜寿記念 西村格外書作展	書	2.26～2.28	水明書道会 第4回墨聚展	書
7.15～7.20	2009 京都日本画家協会選抜展	日本画	3.10～3.14	第53回あまがつ会人形展	諸工芸
8.5～8.9	第1回『洛』展（日本画）	日本画	3.12～3.14	創立30周年 辛酉会書展	書
8.19～8.23	第28回六藝会篆刻展附陸人聯	書	3.18～3.22	土岐妍子書作展 ～たのしうなるこそめでたけれ～	書
8.19～8.23	第14回ファインド・アイ 現代・文人光画展	写真	3.18～3.22	第28回汎具象会友と受賞作家展	洋画
8.26～8.30	絞りコミュニティ 第17回合同作品展	染織	3.18～3.22	第16回新日美京都支部展	美術総合
9.16～9.21	第20回光風工芸「明日へのかたち展」	工芸総合	3.20～3.22	面匠會 第20回京都能面展 <6F>	諸工芸
計 48件（108日間）					47,109人

作家利用分野別件数・入場者数一覧

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術 総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸 総合		
使用件数	8	4	12	5	0	3	5	1	7	3	0	48
割合 (%)	17%	8%	25%	10%	0%	6%	10%	2%	15%	6%	0%	100%
入場者数	8,336	3,378	10,791	7,232	0	2,439	2,866	413	5,264	6,390	0	47,109
1件平均入場者数	1,042	845	899	1,446	0	813	573	413	752	2,130	0	981

*美術総合には現代美術を、諸工芸には能面・人形を含む。

(3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる

利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

生涯学習利用分野別入場者数一覧

会場	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2009 4.9～4.12	華やいで春ペドール展	諸工芸	1,425
	4.9～4.12	日独文化交流パッチワークキルト作品展&花とテーブルコーディネート・刺繍	諸工芸	760
	4.16～4.19	京都水墨会展	日本画	970
	4.16～4.19	萌葱会染色作品展	染織/染色	778
	4.16～4.19	第18回ふしぎな花倶楽部押花アート展	諸工芸	1,487
	5.14～5.17	第11回アトリエYOKO作品展「ハーモニー」	諸工芸	847
	6.11～6.14	若山雅子 クリブキルト作品展	諸工芸	1,163
	6.26～6.28	第9回 佳趣会書展	書	416
	6.30～7.5	明日をひらく絵画 第27回 上野の森美術館大賞展	洋画	1,169
	8.26～8.30	プレール 上田ミチヨ ソーイング教室展	諸工芸	323
	9.10～9.13	栄美子戸田ローブとニューゼファーズキルト展	諸工芸	1,321
	12.17～12.20	2009 京都大学写真部OB会 第5回京都展	写真	504
	2010 1.8～1.11	大藪沙羅書芸教室新春書芸展	書	1,245
	1.26～1.31	第22回京都美術文化賞受賞記念展	(美術)総合	1,337
	2.4～2.7	「京の伝統工芸新人作品展」第13回京都伝統工芸大学校卒業記念作品展	(工芸)総合	2,654
2.18～2.21	京都工芸繊維大学造形工学科卒業制作展	(美術)総合	1,227	
3.5～3.7	第23回全国シルバー書道展京都展	書	1,148	
計 17件 使用日数：71日				18,774

会場	会期	展覧会名	分野	入場者数
6階	2009 4.15	体験学習「京舞」	その他	220
	4.18	平成21年染織光悦會展	染織／染色	385
	5.1～5.3	アトリエ・ラルジャン飾金教室 第10回作品展	金工	306
	5.17	体験学習「絵付け」	その他	180
	6.11	体験学習「座禅」	その他	250
	7.18	柳川三味線による地歌の会	その他	120
	7.28	三条祇園画廊 内見会	その他	20
	7.31～8.2	(財)片山家能楽・京舞保存財団 第13回能装束・能面展	(工芸)総合	1,165
	8.23	個展×落語	その他	137
	8.25	体験学習「京舞」	その他	198
	10.21～10.22	第37回シニア大学学園文化祭	(美術)総合	450
	10.30～11.1	組合創立70周年記念事業 明日への紋意匠～技の継承～	諸工芸	999
	11.6～11.8	第47回龍門社選抜書道展	書	1,004
	11.22～11.23	第十二回竹心展	書	299
	11.22～11.23	叡山学院墨跡展	書	260
	12.12～12.13	第10回いづみ会書展	書	538
	2010 1.26～1.27	双美会展	染織／染色	300
	2.27	「邦寿組」長唄・三味線発表会	その他	100
	3.13～3.14	魅力いっぱい 京の宿フェア	その他	1,500
3.27	第三回京の三条寄席	その他	300	

計 20件 使用日数：34日 8,731

生涯学習利用分野別入場者数

	和装 呉服	美術							工芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術 総合	小計	染織	陶芸・ 金・竹・ 漆	諸工芸	工芸 総合	小計			
5階	件数	—	1	1	3	1	0	2	8	1	0	7	1	9	0	17
	日数	—	4	6	10	4	0	10	34	4	0	29	4	37	0	71
	人数	—	970	1,169	2,809	504	0	2,564	8,016	778	0	7,326	2,654	10,758	0	18,774
6階	件数	—	0	0	4	0	10	1	15	2	1	1	1	5	0	20
	日数	—	0	0	9	0	11	2	22	3	3	3	3	12	0	34
	人数	—	0	0	2,101	0	3,025	450	5,576	685	306	999	1,165	3,155	0	8,731

※6階「その他」は体験学習、落語会等。

(4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

一般利用分野別件数・入場者数

場所		和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5階	件数	4	—	3	4	—	11
	日数	8	—	7	10	—	25
	人数	800	—	2,553	3,862	—	7,215
6階	件数	18	—	—	—	—	18
	日数	33	—	—	—	—	33
	人数	3,100	—	—	—	—	3,100

*美術：日本画、洋画、書、写真など
*工芸：陶芸、金工、竹工、漆芸、諸工芸など

(5) 特別展関連事業

◇平成21年度旧七夕会池坊全国華道展 特別展示「花絵巻―伝承された心と技―いま甦る江戸時代の七夕立花会風景（特別展「いけばな―歴史を彩る日本の美」関連）

会 期：11月13日～15日（3日間）

会 場：6階展示室

概 要：池坊専好はじめ江戸時代に活躍した池坊の
家元や高弟たちの歴史的立花作品を、当時の立花図などの絵図をもとに15点再現し、江戸時代に行われていた七夕立花会の雰囲気
で展示。

主 催：華道家元池坊総務所・財団法人池坊華道会

企画協力：いけばな資料館

入場者：4,806人

◇gen 掛川源一郎が見た戦後北海道（「アイヌの美～カムイと創造する世界～」展併催記念写真展）

会 期：11月25日～12月2日（7日間）

会 場：5階展示室

概 要：特別展「アイヌの美 カムイと創造する世界」展に併せ、北海道の地で70年以上に及ぶ活動を続けてきた写真家、掛川源一郎の1950年代から80年代にかけて撮影した作品154点を展覧。

主 催：京都文化博物館

協 力：北海道立文学館、掛川源一郎写真委員会、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

入場者：736人



「花絵巻―伝承された心と技―」展 会場風景



「gen掛川源一郎が見た戦後北海道」展 会場風景

6-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店（重要文化財）の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールと

しての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、古本市等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。

別館利用状況一覧

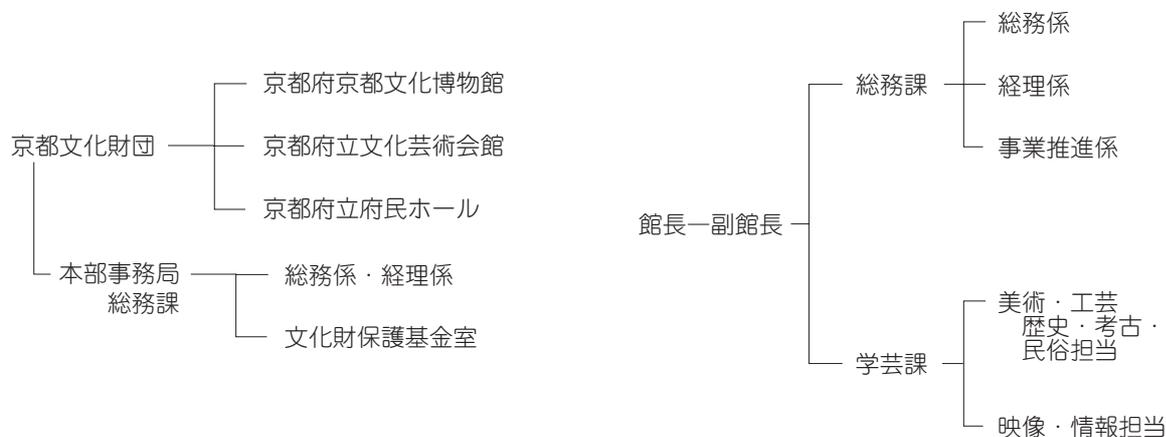
会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
2009. 4. 4	「パッハアカデミー関西」教会暦による カンタータシリーズ 第26回	9.23	アマデウス・クラシック・ライブラリー
4. 5	(株)トーセ設立30周年記念公演 トーセ室内楽演奏会	9.26	ウエディング
4. 7	京都市立芸術大学 トランペットアンサンブル	10. 2	京都フィルハーモニー室内合奏団定期コンサート
4.18	第8回「読書絵てがみコンテスト」表彰式	10. 3	歌の花束
4.24	南座記者会見	10. 4	ムジカ・デ・フィガロ
4.26	ウエディング	10. 7	MITOLOGIA GRECA (ミトロシア グレカ) ー神話を語る 17世紀イタリア音楽ー
4.29	みやこ・キッズ・ハーモニー 春うららこんさーと	10.11	ウエディング
5. 4	ウエディング	10.12	朗読とピアノの夕べ「萩原由美・庵原万喜子の世界」
5. 9	ウエディング	10.16～18	第11回 佐々木真弓アトリエエンジェル スタンドグラス ランプ展
5.10	BIG4	10.20～25	日本スタンドグラス作家協会展
5.15	京都フィルハーモニー室内合奏団定期コンサート	10.30～11. 1	京都アートフリーマーケット2009 秋
5.16	初夏の音によせて	11. 3	京都現代写真作家展表彰式シンポジウム
5.17	シャガールが愛した、故郷の旋律： 東欧ユダヤ音楽・クレスマー演奏会	11. 4	京都市立芸術大学大学院声楽専攻生による宗教音楽の夕べ 河合華雄 Presents 文化創造 第7回室内楽のひとつ 「安永徹・市野あゆみデュオリサイタルの夕べ」
5.22	第27回 レトワールプランシエ管楽合奏団演奏会	11.12	村田堂創業120周年記念展示会 「京都の教育と学生服のあゆみ」
5.23	Piano Diary コンサート	11.20～21	アイヌ文化フェスティバル(アイヌ展関連共催イベント)
5.24	松本茜 ピアノリサイタル	11.23	木田安彦の世界
5.30～31	京都文博骨董ひろば	11.26～12.10	木版画〔西国三十三所〕ガラス絵〔日本の名刹〕
6. 6	JAZZ AT SANJYO BUNKA MUSEUM	12.13	AMUSE ART JAM 表彰式
6. 7	第9回三大学合同独重奏会	12.15/16/18	COOL BEAT in KYOTO 2009～ACOUSTIC NIGHT REVUE 4DAYS～
6.12	京都フィルハーモニー室内合奏団定期コンサート	12.22	2009年 西垣正信 クリスマスコンサート
6.13	松栄堂「香・大賞」	12.23	JEUGIA 子ども表現教室講師コンサート2009
6.14	ムジカ・フィオーリータ 第3回演奏会「四季の彩」	12.25	KOKIA /心の灯りライブ vol.2 in KYOTO 2009
6.20～21	京都丸紅 浴衣フェスティバル	12.26	アグネス倶楽部 ふゆのこんさあと
6.23	空間を奏でる-建築物のための音楽	12.27	京都室内合唱団 第14回定期演奏会
6.25～28	日本建築家協会 京都会員作品展及びセミナー	2010. 1. 6	「Shall we rhythm?～パークッションの航海へ～」
7. 5	珠玉のフランス音楽 ～フランスの歌曲とピアノの名曲を集めて～	1.9～10	京都文博骨董ひろば
7.7～ 9	13回全国きものデザインコンクール審査結果発表会	1.11	音楽会
7.10	Belle des Belles～20世紀初頭のフランス音楽～	1.16	JM コンサート
7.17	水瓶 5th Anniversary Concert 「TOKYO St.& TS KYOTO」	1.17	第6回こころの広場
7.20	ソフィア&ペパーミンツコンサート	1.23	JEUGIA ミュージックサロン四条 発表会 1日目
7.25	千綿 偉功 Live Tour2009「君に届けるアイノウタ」	1.24	JEUGIA ミュージックサロン四条 発表会 2日目
7.26	クレモンティエヌ/ジュスカ・グランパール京都 パリ親善記念コンサート Vol.1	1.30～2. 4	平成21年度伝統産業-京の若手職人総合技術コンクール プライダルフェア
7.29～30	スペシャルレイトショーサイレント 映画「メトロポリス」	2. 7	京都フィルハーモニー室内合奏団定期コンサート
8. 2	Felix 室内合奏団 第21回演奏会	2.13	第6回 春を告げる Embrio コンサート
8. 5	京都フィルハーモニー室内合奏団定期コンサート	2.18～21	京都工芸繊維大学大学院建築工学科修了制作展
8. 7	水瓶プレゼンツ アン・サリーコンサート	2.26～28	KPA「メイキング・ワークショップ2010」
8. 8	國松竜次ギターリサイタル	3. 3	山道由美子 ピアノ・レクチャー・コンサート
8. 9	コールアスター・アンサンブルグレースノート	3. 6	『檸檬(レモン)』のある風景<朗読コンサート>
8.29	ポブラ混声合唱団 第26回演奏会	3.13～14	魅力いっぱい 京の宿フェア
8.30	ピアノコンサート 仮面舞踏会～無限・夢幻～	3.17～18	京鹿の子絞工芸展
9. 4～ 6	クボ・セラミックドール磁器人形と花展	3.20～22	京都アートフリーマーケット2010・春
9.12～13	京都着物二恋する季節展	3.28	アートネットワークを目指して第1回フォーラム
9.19～20	きょうと文博骨董ひろば	3.30	第4回 京都市立芸術大学 トランペットアンサンブルコンサート
9.21	御所南ヴァイオリンスクール 秋の発表会	3.31	京都市立芸大卒業生による木管アンサンブルの夕べ
9.22	HISTORICA 前夜祭 Trans-Pacific Samurai Premiere (共催イベント)		

入場者数 計 89,212人

7 管理・運営

7-1 組織と職員

(1) 組織



※総務係及び経理係は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

(2) 京都文化財団役員

役員名簿

2010年（平成22年）3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	山田 啓二	京都府知事	理事	田中 恒清	石清水八幡宮宮司
	岡本 道雄	京都大学名誉教授、前京都文化財団理事長		西村 恭子	美術プロデューサー
理事長	荒巻 禎一	前京都府知事、京都文化博物館館長		野中 信夫	元NPO MCEI専務理事
副理事長	千 玄室	前茶道裏千家家元		日比野光鳳	書家
	麻生 純	京都府副知事		増田 正蔵	京都新聞社代表取締役会長
常務理事	鈴木 真咲	京都文化博物館副館長		村井 康彦	京都市美術館館長
理事	有馬 頼底	相国寺管長	監事	立石 義雄	京都商工会議所会頭
	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元		山本 壯太	「古典の日」推進委員会ゼネラルプロデューサー
	井上八千代	京舞井上流家元		山内 一	京都府文化環境部文化芸術室室長
	今井 政之	陶芸家		岡田 博邦	(社)京都銀行協会専務理事
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授		大槻 茂	京都府会計管理者
	大橋 通夫	京都府教育委員会委員長			
	奥村 泰三	前京都府社会教育委員連絡協議会会長			
	神林 恒道	大阪大学名誉教授			

(3) 京都文化博物館職員

職員名簿

2010年(平成22年)3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
	館長 副館長	荒巻 禎一 鈴木 真咲	館総括 館業務総括	財団理事長 2003.6～ 財団常務理事・事務局長 2006.6～
総務課	課長 調査役 経理係長 総務係長 主事 主事 参事・文化財保護基金室長 文化財保護基金室調査役 事業推進係長 主任 主任 嘱託	塩見 康一 金田 暁 森木 礼子 佐藤 幸央 奥田 紀子 西牧 朋子 松田 寛 鶴谷 孝行 森 雅樹 海老名和孝 高桑 鉄則 渡辺紀久子	課総括 総務係 経理係 総務係 経理係 総務係 総務課兼務 総務課兼務 事業推進係 事業推進係 事業推進係 事業推進係	財団本部事務局兼務 2008.4～ 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 2007.7～ 財団本部事務局兼務 2008.4～ 財団本部事務局文化財保護基金室 2009.4～ 財団本部事務局文化財保護基金室 非常勤 2008.4～ 2007.4～ 2006.4～
学芸課	課長 主幹・主任学芸員 課長補佐・主任学芸員 主任学芸員 主任学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 映像・情報室長 主任学芸員 調査役 嘱託 嘱託	畑 智子 植山 茂 南 博史 長舟 洋司 洲鎌佐智子 市川 彰 横山 和弘 林 智子 森脇 清隆 鈴木 忠司 松岡美知世 青木 完一	課総括 考古・民俗 歴史・考古 絵画・彫刻 工芸 美術 歴史・文献 染織 映像・情報 学芸事務 映像・情報 映像	 2008.10～ 非常勤 2007.4～ 2009.4～ 非常勤

7-2 施設

(1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1

設計：京都府土木建築部営繕課・(株)久米建築事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月

敷地面積：4,790.35㎡(別館を含む)

建築面積：3,481.04㎡(別館を含む)

延床面積：15,827.42㎡(別館を含む)

本館床面積内訳：

地階 2,242.42㎡／1階 2,265.29㎡

2階 1,853.39㎡／3階 1,908.79㎡

4階 1,442.19㎡／5階 1,442.19㎡

6階 1,218.28㎡／7階 1,010.43㎡

塔屋 182.88㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

(2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903(明治36)年9月～1906(明治39)年6月

延床面積：2,261.56㎡

別館構造：建築面積 819.67㎡

煉瓦造、2階建一部地下1階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積 187.10㎡

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

指 定：重要文化財

指 定 名 称 旧日本銀行京都支店

指 定 年 月 日 1969年3月12日

指 定 書 番 号 建第1,708号

7-3 ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には京料理などの飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店で作る「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は180,361人であった。

京風雅便箋—表現社
縮緬小物—くろちく
竹の匠—高野竹工

化粧小物—左り馬
京つけもの—西利

- ◇町家料理 鳥彌三—あざみ
- ◇手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋
- ◇豆腐料理—有福
- ◇エスプレッソコーヒーの店—コロラドコーヒー
- ◇京・嵐山上流の蔵—京丹山（2009年6月入店）
- ◇京の若手職人工房—粋匠（2009年6月入店）
- ◇ミュージアムショップ—便利堂
- ◇珈琲サロン（別館）—阿蘭陀館

(1) ろうじ店舗一覧

- ◇紙の店—楽紙館
- ◇京しゅみ—菰軒
- ◇京のエッセンス17舗名店会（順不同）
 - 薫香—松栄堂
 - 念珠—福永念珠舗
 - 京佃煮—野村
 - 京扇子—とくの
 - 八つ橋—井筒八ツ橋
 - 京小間物—光悦
 - 京麩—半兵衛麩
 - 京菓子—鼓月
 - 宇治茶—福寿園
 - 京象嵌—川人象嵌
 - 京の額—古澤仙壽堂
 - 野菜せんべい—京煎堂

(2) 別館店舗一覧

- ◇Contemporary Art JARFO京・文博
- ◇アートギャラリー arton
- ◇住遊生活—和座百衆
- ◇Social Design Café soboro

(3) 博和会・ろうじ行事

博和会行事

区 分	名 称	月 日
ろうじ祭り	春期 来客者増大キャンペーン第1弾	2009年4月1日～12日
	春期 来客者増大キャンペーン第2弾	5月1日～10日
	秋期 来客者増大キャンペーン第1弾	10月3日～12日
	秋期 来客者増大キャンペーン第2弾	11月21日～30日

ろうじ店舗東側通路の利用状況

区 分	名 称	月 日
博和会催事	京扇子とくの	2009年7月14日～20日
	呉美の市	11月21日～23日
	京扇子とくの	2010年2月11日～16日
地域活性化行事	京都府立図書館子ども絵手紙コンテスト	2009年4月18日～5月6日
	池坊華道会生け花展	2010年1月28日～31日
	高倉小学校生け花展	2月19日～28日

8. 2009（平成21）年度のあゆみ

※事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	月 日	事 項
2009年		8月18日	歴史展示室特別陳列「京の風景」 (～10月18日/2階)
	「イタリア美術とナポレオン」展開催 (2009年3月27日～2009年5月24日/4階)	8月22日	「藤城清治 光と影の世界展」サイン会(藤城清治氏)
4月1日	京都の美術・工芸展1「京都府所蔵品展『春から夏へ』」 開催(～5月27日/3階)	9月4日	「藤城清治 光と影の世界展」ギャラリートーク (森脇/4・3階)
4月7日	歴史展示室特別陳列「龍馬からの手紙」 (～6月14日/2階)	9月5日	歴史常設展展示解説(早光照子氏・南/2階)
4月10日	「イタリア美術とナポレオン」展ギャラリートーク (南/4階)	9月12日	MOKの会 9月例会(7階サロン)
4月11日	「イタリア美術とナポレオン」展記念演奏会 (藪田唯氏・阿部星香氏/AH)	9月13日	「藤城清治 光と影の世界展」サイン会(藤城清治氏)
4月11日	MOKの会 2009年度総会(7階サロン)	9月21日	「藤城清治 光と影の世界展」サイン会(藤城清治氏)
4月12日	音楽会<19世紀の巨星ブラームス 第4夜>(AH)	9月22日	「藤城清治 光と影の世界展」サイン会(藤城清治氏)
4月18日	京都府立図書館子ども絵手紙コンテスト (～5月6日/ろうじ)	9月27日	ぶんぱく子ども教室「博物館でアート～絵を描こう編～」 (AH)
4月25日	歴史常設展展示解説(横山/2階)	10月2日	京都の美術・工芸展2「日本画」展開催 (～11月15日/3階)
4月25日	「イタリア美術とナポレオン」展記念講演会 (宮下規久朗氏/AH)	10月3日	「いけばな」展開催(～11月15日/4階)
5月2日	歴史常設展展示解説(小石原将夫氏・南/2階)	10月6日	音楽会<20世紀の歩みと地域の拡大パルトーク 第1夜>(AH)
5月5日	歴史常設展展示解説(小石原将夫氏・南/2階)	10月9日	「いけばな」展ギャラリートーク(植山/4階)
5月15日	「イタリア美術とナポレオン」展ギャラリートーク (畑/4階)	10月10日	歴史常設展展示解説(横山/2階)
6月6日	「白樺派の愛した美術」展開催 (～7月20日/4・3階)	10月10日	京都の美術・工芸展2「日本画」展講演会 (畠中光亨氏/3階)
6月12日	「白樺派の愛した美術」展ギャラリートーク (長舟/4・3階)	10月14日	京都の美術・工芸展2「日本画」展ギャラリートーク (上村淳之氏/3階)
6月12日	京都市内4館連携協力協議会の発足	10月16日	「いけばな」展ギャラリートーク(植山/4階)
6月13日	MOKの会 6月例会(7階サロン)	10月17日	「いけばな」展講演会(村井康彦氏/MH)
6月16日	歴史展示室特別陳列「弥生時代から古墳時代へ」 (～8月16日/2階)	10月20日	歴史展示室特別陳列「王朝文学の雅」 (～12月20日/2階)
6月19日	「白樺派の愛した美術」展ギャラリートーク (長舟/4・3階)	10月23日	「いけばな」展ギャラリートーク(畑/4階)
6月20日	歴史常設展展示解説(植山/2階)	10月28日	京都の美術・工芸展2「日本画」展ギャラリートーク (竹内浩一氏/3階)
6月24日	音楽会<19世紀の巨星ブラームス 第5夜>(AH)	10月30日	「いけばな」展ギャラリートーク(植山/4階)
7月4日	「白樺派の愛した美術」展講演会(紅野敏郎氏/AH)	10月31日	ぶんぱく子ども教室「探検!映画の博物館」 (MHほか)
7月4日	歴史常設展展示解説(横山/2階)	11月1日	「三条高倉まちかどミュージアム」(～15日)
7月10日	「白樺派の愛した美術」展ギャラリートーク (長舟/4・3階)	11月3日	ぶんぱく子ども教室「博物館でアート～立体編～ その1」(別館前ウッドデッキ)
7月11日	MOKの会 臨時総会(7階サロン)	11月6日	「いけばな」展ギャラリートーク(植山/4階)
7月14日	ぶんぱく子ども教室「ゆかたの着付け体験と祇園祭の夕べ」 (岩戸山町)	11月7日	MOKの会 見学研修会(大阪歴史博物館など)
7月14日	京扇子とく(～20日/ろうじ)	11月7日	「三条子ども探検隊『三条通の一番を探そう!』」
7月16日	祇園祭協賛事業「第20回宵山に箏曲を聴く夕べ」 (AH)	11月8日	「おこしやす・ぶんぱくフリーマーケット」
7月18日	祇園祭協賛事業「ミュージアムコンサート～音楽の玉手箱～」 (～19日/AH)	11月13日	「いけばな」展関連事業「花絵巻 ～伝承された心と技～」展開催(～15日/6階)
8月1日	「藤城清治 光と影の世界展」開催 (～9月23日/4・3階)	11月14日	歴史常設展展示解説(南/2階)
8月1日	ぶんぱく子ども教室「家紋でカモン!」(AH)	11月14日	「オータムミュージアムコンサート」(～15日/AH)
8月4日	博物館実習(～8月7日)	11月14日	関西文化の日・常設展示室無料開放(～15日)
8月6日	音楽会<19世紀の巨星ブラームス 第6夜>(AH)	11月15日	ぶんぱく子ども教室「博物館でアート～立体編～ その2」(別館前ウッドデッキ)
8月8日	ぶんぱく子ども教室「教えて考古学」(2階)	11月21日	呉美の市(～23日/ろうじ)
8月14日	「藤城清治 光と影の世界展」ギャラリートーク (森脇/4・3階)	11月23日	「アイヌの美」展開催 (～2010年1月11日/4階)
8月15日	歴史常設展展示解説(植山/2階)	11月23日	京都の美術・工芸展3「受け継いでいく祇園祭」展開催 (～2010年1月11日/3階)
8月16日	「藤城清治 光と影の世界展」サイン会(藤城清治氏)	11月23日	アイヌ文化フェスティバル(AH)
		11月25日	「アイヌの美」展併催記念写真展「gen 掛川源一郎が 見た戦後北海道」開催(～12月2日/5階)

12月4日	「アイヌの美」展ギャラリートーク (南/4階)	1月30日	ぶんぱく子ども教室「館内ぐるぐる探検ツアー」
12月11日	世界無形文化遺産登録記念上映「映画『祇園祭』と戦前の山鉾巡行の記録映像」 (・13日/3階)	1月30日	「京都府美術工芸新鋭展」出品作家によるギャラリートーク (4階)
12月17日	音楽会「20世紀の歩みと地域の拡大パルトーク 第2夜」 (AH)	2月9日	歴史展示室特別陳列「京都府所蔵の雛人形」 (～4月4日/2階)
12月18日	「アイヌの美」展ギャラリートーク (南/4階)	2月11日	「古代カルタゴとローマ」展開催 (～4月4日/4・3階)
12月19日	京都の美術・工芸展3「受け継いでいく祇園祭」展記念講演会 (吉田孝次郎氏/AH)	2月11日	友の会文化講座・ハンニバルクラブ京都講演会 (AH)
12月20日	「ぶんぱくライブ・イン・ピース」 (AH)	2月11日	京扇子とくの (～16日/ろうじ)
12月22日	歴史展示室特別陳列「幕末前夜の風流」 (～2010年2月7日/2階)	2月12日	「古代カルタゴとローマ」展ギャラリートーク (南/4・3階)
12月26日	歴史常設展展示解説 (植山/2階)	2月13日	「古代カルタゴとローマ」展講演会 (ケミリー園子氏/MH)
2010年		2月13日	歴史常設展展示解説 (南/2階)
1月8日	「アイヌの美」展ギャラリートーク (南/4階)	2月19日	高倉小学校生け花展 (～28日/ろうじ)
1月9日	ぶんぱく子ども教室「ムックリを作ってみなで鳴らしてみよう」 (AL)	2月23日	音楽会「20世紀の歩みと地域の拡大パルトーク 第3夜」 (AH)
1月9日	MOKの会 1月例会 (7階サロン)	2月27日	「古代カルタゴとローマ」展講演会 (佐藤育子氏/MH)
1月16日	京都の美術・工芸展4「池大雅と日本画の名品」展開催 (～1月31日/3階)	2月27日	友の会見学会・文化財研修講座 (杉本家住宅)
1月19日	「京都府美術工芸新鋭展」開催 (～2月3日/4階)	3月5日	京都市内4館連携協定書調印
1月23日	歴史常設展展示解説 (横山/2階)	3月13日	ぶんぱく子ども教室「石やガラスで作ってみよう！手作りモザイク教室」 (AL)
1月23日	京都の美術・工芸展4「池大雅と日本画の名品」展ギャラリートーク (佐々木もと子氏/3階)	3月13日	MOKの会 3月例会 (7階サロン)
1月23日	「京都府美術工芸新鋭展」出品作家によるギャラリートーク (4階)	3月20日	歴史常設展展示解説 (植山/2階)
1月28日	池坊華道会生け花展 (～31日/ろうじ)	3月26日	「古代カルタゴとローマ」展ギャラリートーク (南/4・3階)
1月30日	「京都府美術工芸新鋭展」出品作家によるギャラリートーク (4階)	3月26日	ぶんぱく子ども教室「春休みアニメーション・ワークショップ」 (～3月28日/AL)

京都文化博物館 2009(平成21)年度年報

発行日 2010年9月30日
編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL 075-222-0888
FAX 075-222-0889
印刷 (株)吉川印刷工業所
〒601-8353 京都市南区吉祥院這登中町45-1
TEL 075-691-8186